

# Yawaragi

Gakushuin Women's College

VOL.26  
2023年度



2024年3月

# Yawaragi

学習院女子大学だより

やわらぎ

第26号

2023年度

## Contents

- P. 2 目次
- P. 3 学長挨拶
- P. 4 新副学長挨拶
- P. 5 新学部長挨拶
- P. 6 ベトナム国際協力研修―食と環境―
- P. 8 中欧国際協力研修で得られたもの―ウクライナの近隣諸国を再訪して―
- P. 10 誠信女子大学との海外同時授業
- P. 11 学習院女子大学演劇公演『シェイクスピアの名場面：愛のセリフとワークショップ』
- P. 12 令和5年度 特別授業の紹介
- P. 14 高大連携協定校 神田女学園高等学校 NCLプロジェクト実施報告
- P. 15 高大連携協定に基づく平和教育プログラム(山脇学園中学・高等学校)
- P. 16 学習院女子大学学会より
- P. 18 国際学研究所だより
- P. 19 留学生報告
- P. 20 海外留学報告
- P. 21 国際交流推進センター行事報告
- P. 22 留学制度について
- P. 23 輔仁会団体紹介
- P. 24 輔仁会団体紹介/雅祭を終えて
- P. 25 「和祭」を振り返って
- P. 26 学習院女子大学の就職力
- P. 27 キャリア・就職支援
- P. 28 内定者からの声
- P. 29 学習院父母会からの近況報告
- P. 30 新任専任教員紹介
- P. 31 専任教員紹介
- P. 32 専任教員著書紹介/令和5年度客員研究員受入一覧
- P. 33 図書館からのお知らせ
- P. 34 学習院女子大学データ
- P. 35 令和6年度学年暦/令和6年度105分授業の導入について
- P. 36 保健室・カウンセリングルームのごあんない
- P. 37 草上会について
- P. 38 Topics 2023



# 学長挨拶

学習院女子大学長 大桃 敏行

## 学長挨拶

### 学習院大学との

### 統合計画

皆様、ごきげんよう。

既に説明会などでお話ししてきましたように、本学は学習院大学との統合を計画しています。令和八年四月を統合の最短の目標として準備を進めること、統合において学習院女子大学の国際文化交流学部は学習院大学の一つの学部になると、学部学科構成やカリキュラムは原則として統合後も維持することを骨子とするものであり、統合の時点で本学に在籍する学生の皆さんは、ご本人と保証人の方の承諾の

もとに転学し、学習院大学の学生となっていたべく計画です。ただし、設置構想中であり、今後、内容が変更になる可能性がありうることをご理解ください。

統合までは、学習院女子大学として、これまでと同じように教育を実施し、キャリア支援などの各種支援活動も行っておりまます。また、統合後の教育は、基本的には今の教員が担当することとしています。先日、卒業生が訪ねてきて歓談のときを持つことができましたが、同じように統合後も国際文化交流学部の卒業生として訪ねてきていただければと思います。

### 学習院女子大学が

### 培ってきたもの

この統合によって、本学が培ってきたものを継承・発展させ、学習院全体の発展に貢献していきたいと考えています。学部名に示されるように、まず国際性をあげることができましよう。世界に多くの協定大学があり、この協定大学を中心に学術交流や留学を進めてきました。また、先進国だけでなく途上国も対象とした海外研修も実施してきましたし、海外同時授業など国際性に

富んだ多くの授業も開講してきました。

本学の特徴として、多様性に開かれたカリキュラム構成をあげることでもできましよう。学習院女子大学は、多様な学問分野に触れた後に自分の選んだ専門領域の学修を深めていく教育課程を組んでいます。そのため多様な分野の授業を開講していますが、合わせて異なる学問分野を跨いだ学際的な授業も実施してきました。自ら選んだ専門分野を深めるとともに、多様な分野を繋いでいく力、多角的に物事を捉え直していく力の育成をめざすものです。

### 個性を包容する伝統

このような教育課程の特徴とともに、私は学びの場の関係性のようなものも大事にしたいと考えています。本学は一つの学部からなりませんが、そこに多様な分野の教員がいて、それぞれの専門を活かしながら様々な共同がなされています。前述の学際的な授業の多くが多様な学問分野の教員の共同によるものですし、異なる専門分野のゼミ間の共同活動も行われています。私は、学生の皆さんの多くが、多様な個性

を認めながら互いに協力し合う力を身に付けていくように感じています。ですが、そこにこのような教育や活動の影響があるとすれば嬉しいことです。本学の前身である学習院女子短期大学と学習院大学の両方の学長を務められた小倉芳彦先生は、かつて学習院の特徴として「個性を包容する伝統」をあげられていました。そのような伝統の力もあるのかもしれませんが、この言葉を教えてくれたのがSNSでの広報を担っていた同僚で、広報用の葉に小倉先生の了承を得てこの言葉を掲載させていただきました。

本学が培ってきた国際性や学際性などとともに、多様な個性を包容する力、それを育んでいく学びの空間の雰囲気のようなものも、継承していくことができればと思います。国際文化交流は多様な文化についての理解、文化と文化の関係や交流についての理解が重要なこととは言うまでもありませんが、その学びの空間もまた多様な個性を包容するものであって欲しいと願うからです。



## 新副学長

## 挨拶

武井 彩佳

私が学習院女子大学に赴任したのは、平成19年です。かれこれ17年になりますが、その間、新しい1号館ができ、近衛騎兵連隊兵舎であった4号館が改修されて生まれ変わり、また正門から続いている桜並木の一部が枯れて植え替えられるといった、女子大学のちょっとした「歴史」と共に歩んできました。その中で変わっていないのは、誰に対しても温かみで、おらかな校風ではないかと思えます。

私は現在、主に女子大学の学習院大学への統合に関連する業務を担当しています。女子大学を学習院大学に統合する計画が発表されたのは、令和5年7月でした。昨年私は大学の海外長期研修制度でフランスにいたため、帰国してすぐに大桃学長

の下で統合業務を補佐することになりました。その重任に戸惑い、このような仕事は自分の能力を超えると感じたのも事実です。

ただ、そうした心配は杞憂であると分かりました。改修された4号館の前に、大きなヒマラヤスギが二本立っているのをご存じでしょうか。夏は枝葉を広げ涼しげな陰を作り、冬は木枯らしから私たちを守ってくれています。地の下に大きく広がるその根を私たちが目にすることはありませんが、これが上に高く伸びる杉を支えてくれているのです。華族女学校以来の長い歴史と伝統、そして様々な時代を先導してきた多くの卒業生の張った根が、現在の女子大学を支え、また統合後の国際文化交流学部を支えてくれるに違いありません。そのお手伝いを、微力ながらもできればよいと思えます。



時安 邦治

新しく副学長となりました国際文化交流学部日本文化学教授の時安邦治と申します。副学長としての私の担当業務のなかに中期計画と内部質保証（認証評価・IR）があります。その内容について少しお話しいたします。

中期計画とは創立150周年に向けた学校法人学習院の中期計画「学習院VISION150」を指し、私の役目はこの計画の女子大学部分の推進です。本学は全部で10の事業計画を立て、伝統の継承と時代に合わせた刷新をともに実現するべく尽力しています。

内部質保証とは大学が教育と研究の質を自ら保証することをいいます。今、大学は自ら点検項目を設け、根拠に基づいて評価し、教育と研究の質を高めていくことが求められています。そうした自己点検・評価の結果をもとに、大学としての基準を満たしていることを外部の専門機関が認定するのが認証評価制度です。IRとはInstitutional Researchの略で、自己点検・評価のための

データを収集・分析する活動です。現在、本学においてもIRデータに基づいた運営判断が行われています。

IRの一環として、令和5年度には「卒業生アンケート」を実施しました。本学の卒業生が本学の教育にきわめて高い満足度を得ていることが判明し、教職員にとつて大きな励みとなりました。今後もさらに本学の教育の質を高めるよう努めてまいります。

なお、自己点検・評価や卒業生アンケートは本学のウェブサイトで結果を公表しております（本学ホームページにおいて「公表情報」で検索してください）。



## 新学部長

## 挨拶

畠山 圭一

令和5年4月1日、国際文化交流学部長を拝命いたしました。

学習院女子大学「国際文化交流学部」は、文化の交流と相互理解を通じて国際社会に貢献できる、時代を先導する創造的リーダーを育成するために創設されました。また、その際に国境・民族・文化をこえ、人類の平和と文化の発展を希求し、豊かな教養と地球的視野を持つ人材という条件も加えられました。今日の国際社会の実情を見つめるとき、その重要性はますます高まっています。

大学の教育内容は、それぞれの理念に基づいた強い独自性を持っています。国際文化交流学部も、他に類を見ない、世界的にも希少な高度な教育プログラムを数多く

提供してきました。

○日本の思想や文化を的確に世界に伝える実践力や実技の習得、  
○日本の常識とは異なる国際社会のルール・構造を実態的に理解する実務者による指導、○多様な国々・地域の社会文化を多角的に深く広く理解する学際的プログラム、○世界中の国々や人々との深い意思疎通を可能にする高度な語学力の養成と実体験の提供、などはその例です。  
こうした教育内容の工夫や改善に終わりはありません。

自ら志をもつて学ぼうとする人に、冒頭に示した建学の理念に基づき最高の勉学環境を提供し続けることこそ、本学の教育に携わる者の最も重要な使命です。

すべての方々の人生にとって、かけがえない大学生活となるよう、全身全霊で精進してまいります。何卒、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願いする次第です。



## ベトナム国際協力研修 ―食と環境―

日本文化学科  
教授 宇都宮 由佳

ベトナムは、水と緑豊かな大地に米

が年に3〜4回収穫できる穀倉地であり、中国に約1000年、フランス約50年に支配された歴史がある。ベトナム戦争を経て、近年急速な経済発展を遂げる一方で、貧困や環境汚染など様々な問題をかかえている。

本研修では、平和や環境について考える機会とし、学生たちが世界に対する視野を広げることを目的としている。

令和4年度は、「食と環境」をテーマとして古都フエを拠点に農業体験や料理教室ほか、小学校や大学でワークショップを開催し子どもたちや学生らと交流をした。

2023年2〜3月(11日間)の研修に参加した学生たちの感想を抜粋して紹介する。

### ●ベトナムの食にふれて―命の授業

ベトナム料理は食材を余すことなく使用したヘルシーな料理が多いと感じた。(略)どの料理にも必ずレタスやきゅうり、パクチーなどの緑野菜が添えられていた。特に印象的だったのが初日に食べた花鍋だ。そもそも花を食べることに驚いたし、思っていたよりも美味しかった。また6日目には命の授業として、子どもの家でニワトリを絞める体験をした。絞め作業を見て、怖い・かわいそう・ごめんなさい・やりたくないなど様々な感情が湧き上がった。だが自分たちが食べているものは、このような作業を誰かが行わなければ食べられないし、他の動物を殺すことで私たちは生きることができているのだと感じた。(略)この体験を通して、食事前の「いただきます」の

意味を強く痛感し、今後も食べる前は必ず食材とそれを作った人に感謝しようと思った。「命をいただく」とはどのようなことなのかを目と耳、肌など体全体で感じることでできた非常に貴重な経験であった。(S・T)

●ベトナム研修全体を通して、食べ物をおいしいと感じるハードルが出発前よりも大幅に下がったと感じる。私はパクチーが苦手だったが、初日の花鍋(二日目のヤギ肉と内臓を食べたおかげでパクチーを苦手だと思っ自分馬鹿らしくなったのだ。また、どのお店で食べるスープも味付けが優しく染みわたる感じがしてとても美味しく、そこに加える味変食材としてパクチーとナンプラーを受け入れることができたのである。出発前は「口に合わなくて食べられないものが無かったらどうしよう」と不安に感じていたが、和食の味付けとはまた違った美味しさや出汁の旨味を感じ意外にもベトナム料理が口に合うことを初めて知った。子どもの家で行った命の授業では、参加したメンバーの中で私だけが実際に包丁を持って鳥を絞めた。ソンさんのお手本を見た時の印象が皆の中では強烈で、怖くて辛くて近づけないという雰囲気を感じたが鳥を絞める手伝いをしている子どもたちを見て、これが彼らにとって



現地交流をとおして

面白かった。(H・H)

●私は初めての海外がベトナム研修だった。(略)外国なので英語を使う場面も多く文化交流・体験がメインだが、語学力も少し身についたと感じている。担当した小学校のワークでは、頭を悩ませる事が多く前日の夜まで準備して大変だったが、子どもたちが笑顔で返事をしてくれたり楽しんでいる姿を見て頑張ったよかったと心の底から思った。大学でのワークで、現地の学生が出汁の魚の匂いや味が不味いと言っていた。ベトナムの魚醤も魚なので面白い反応だと思った。ベトナム

の日常であることを実感し実際にやってみようと思った。日本でも誰かがこの作業をしてくれているからこそ、私たちは鳥を頂けているのだと改めて分かり、食材と食に関わる全ての人に感謝して頂こうと感じた。(Y・N)

●2度の料理教室で実際に自分たちの手でベトナム料理を作ったことやさまざまなレストランに連れて行ってもらって料理やマナーなどの食文化を直接学ぶ機会があったことが楽しかった。ベトナムの朝は早く7時から学生は学校に通っていることや、朝食は外食が多いなどの文化など日本との違いを学ぶことも面白かった。(H・H)

2023年ベトナム研修の内容と日程

日次	月/日	都市	発着時刻	交通機関	スケジュール	食事
1	2月28日 (火)	成田 成田発 ホーチミン着 ホーチミン	07:30 09:30 14:25 午後 夜	VN301 専用車	成田空港第1ターミナル 北ウィングAカウンター前集合 ベトナム航空にてホーチミンへ 着後、空港にてお出迎え、市内へ(ホーチミンの印象) 戦争博物館見学(ベトナム戦争) 花餅のご夕食(食文化)	昼: 機内食 昼: レストラン 夕: レストラン
2	3月1日 (水)	ホーチミン	朝 午前  昼 14:00 夜	専用車	ホテルにてご朝食(食文化) ホーチミンの路地裏見学(環境教育) 露干しライスペーパーを作っている家訪問(食文化) 実際にライスペーパー作りを体験します 野菜や豚肉を露干しライスペーパーで巻いて食べるご昼食(食文化) ハンモックカフェで休憩後、ホーチミンへ ヤキ焼肉&ヤキ鍋のご夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: レストラン 夕: レストラン
3	3月2日 (木)	ホーチミン	朝 午前  昼 午後 17:00 18:00 19:15 20:45	専用車  VN1378 専用車	ホテルにてご朝食(食文化) ベトナム料理教室(食文化) 市場にて買い出し、その後料理教室へ ベトナム料理を数品作ります 作った料理のご昼食(食文化) ペンタ市場見学(環境教育) パインミー購入(食文化) (出発の2時間前迄)空港までご送迎 ベトナム航空にてフエへ 空港にてお出迎え、ホテルまでご送迎	朝: ホテル 昼: 料理教室 夕: O
4	3月3日 (金)	フエ	午前  昼 午後	専用車	フエ最大のドンバ市場見学(環境教育) フエでの活動に必要な物品購入 ベトナム民族衣装のアオザイをオーダーメイド(オプション) フエのご昼食(食文化) フエでの活動準備(会場: ホテル6階予定) 昼食&夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: レストラン 夕: レストラン
5	3月4日 (土)	フエ	朝 午前  昼 午後	専用車	ホテルにてご朝食(食文化) NGO法人BAH様の活動地訪問 BAH様からのレクチャー、農業体験、農民へのインタビュー 農家の人々のご昼食 フエ郊外のお茶屋にて中間振り返り 昼食&夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: 農家 夕: レストラン
6	3月5日 (日)	フエ	午前  昼 午後	専用車	フエ市運営の子どもの家訪問 子どもの家施設案内 昼食作りのお手伝い(鳥)(食文化) ※野菜を切る場所から 子どもの家にてご昼食(食文化) 子どもの家にて交流・授業(環境教育と味わい教育) 昼食&夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: 子どもの家 夕: レストラン
7	3月6日 (月)	フエ	午前 昼 午後	専用車	ベトナム料理教室(食文化) ※料理学校にて作った料理のご昼食 フルール小学校にて授業(環境教育) 昼食&夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: 料理教室 夕: レストラン
8	3月7日 (火)	フエ	終日	専用車	フエ高等師範大学訪問(環境教育と味わい教育) 日本語学科の学生と交流・授業 昼食&夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: レストラン 夕: レストラン
9	3月8日 (水)	フエ 国際線ターミナル	終日 午前 午後	専用車	山岳少数民族の村訪問 トゥオンロ小学校にて授業(環境教育と味わい教育) カトー族の村にて支援物資贈呈・交流(環境教育) 昼食&夕食(食文化)	朝: ホテル 昼: レストラン 夕: レストラン
10	3月9日 (木)	フエ  フエ発 ハノイ着	午前 11:00 昼 午後 17:00 17:30 18:40 20:00	専用車  VN1548	活動のまとめ カイティン市見学(教育) 市街近くのレストランにてご昼食(食文化) 活動のまとめ ~お部屋は17:00までのレイト・チェックアウト~ ホテル発 空港チェックイン ベトナム航空にてハノイへ 着後、国際線へ移動&チェックイン	朝: ホテル 昼: レストラン 夕: ター
11	3月10日 (金)	ハノイ発 成田着	00:30 07:00	VN110	ベトナム航空にてご帰国の途へ 成田空港着	朝: 機内食

●研修全体を振り返り、本当にあつたという間だった。朝が早く大変だったがどの工程も本当に充実していて、この研修ではないと経験できない事ばかりで本当に毎日が楽しかった。何よりも、英語は得意では無いしベトナム語も分からなくても、現地の人と一緒に楽しむ事が出来たのが心の底から嬉しかった。ベトナム研修での経験は残りの学生生活、そして卒業後にも役に立つ貴重な時間だったと思う。(Y・O)

●現地の人々との交流は想定通りにならないことも多くあり進行が難

しかったが、人から意見を引き出すコツを学ぶことができて、今後も役に立つ経験になったと思う。(Y・T)

●研修では、市場を回って気になった物をその場で食べたり、ガイドブックには載っていないようなローカルで美味しいお店や現地の人の家で食事をしたり、子どもたちの家など、小学生・大学生・少数民族など現地の人と交流を持つたりと普通の観光では絶対にできない経験をいくつもした。中でも、印象深かったのはベトナムに53ある少数民族のうちの一つであるカトウー

族との交流だ。本来、他国の人とベトナムの少数民族との交流は禁止されているらしい。そのように、厳重な規制の下に暮らしている彼らは、民族感が強く、敵かな雰囲気なのだと思っていた。しかし、実際に会ってみるとウエルカムの精神が強く伝わり、フレンドリーでとても良い人たちだった。このように普通では交流できない人と知り合えたり、ベトナムの「食」を存分に堪能できたりしたため、心の底からベトナム研修に参加できて良かったと感じる。(M・H)

ベトナムでの研修は2014年度から開催されており、本学のHPには現地研修の報告書が写真も豊富に掲載されているので、詳しくはそちらを参照していただきたい。



[https://www.gwc.gakushuin.ac.jp/global/short\\_program\\_vietnam/](https://www.gwc.gakushuin.ac.jp/global/short_program_vietnam/)

## 中欧国際協力研修で得られたもの —ウクライナの近隣諸国を再訪して—

本誌の前号に記載しましたように昨年度はオーストリアとクロアチアのみで三年ぶりに本研修を再開しました。今年度は北マケドニア、セルビア、モルドヴァも再訪し、ようやくコロナ前に九年連続で実施していた五カ国の研修に戻りました。学生たちの研修レポートの一部を引用しつつ、特に今年度ならではのプログラムを中心に紹介します。

### 授業での学びから現地訪問へ

私が中欧国際協力研修に参加を決めた理由は、中島先生の授業を通して中・東欧諸国について学び、現地足を運んで自分の目で見てみたいという気持ちが強くなったことである。日本に暮らしている私にとって、旧社会主義国の多い東ヨーロッパはその歴史的背景や距離の遠さからあまり馴染みがある国とは言えなかった。しかし、地域研究基礎論を

### 国際コミュニケーション学科 教授 中島 崇文

履修したことをきっかけに歴史や現状、文化について詳しく知ることができ、中・東欧の国々についてより一層興味が深まったのだ。そのような中で、コロナ禍で中止や日程の短縮を余儀なくされていた本研修が四年ぶりに従来の形態に戻り、オーストリア、北マケドニア、セルビア、モルドヴァ、クロアチアの五カ国すべてを訪れるという素晴らしい機会を得ることができた。

猶崎 未優

### 北マケドニアでの交流事業参加

この日は、地元の中学生とボランティア活動をやる日であった。地元のパスケチームの少女たちと「ゴミ拾い」をし、そのあと折り紙や書道といった日本文化を紹介する時間を持った。少女たちは到着して私たちを見るなり笑顔で挨拶してくれて、ハートのジェスチャーを見せてくれたため、私

たちの緊張もすぐにほぐれた。ゴミ拾いのボランティアも積極的に参加してくれたことがその後の文化紹介の時間が和やかな雰囲気に進められた要因だと感じた。日本文化の紹介は、五〜六人でグループをつくり、折り紙や書道を紹介した。彼女たちの名前を漢字で表記してあげると、非常に喜んでくれ、配ったTシャツに書いてもらおうと列ができるほどで、自国の文化でこれほど喜んでくれたことが非常に嬉しかった。数時間の交流だったが、非常に有意義な時間となった。

玉置 日和



### JICAバルカン事務所訪問

バスで移動し、JICAバルカン事務所に向かった。セルビアは日本から七番目に投資を受けており、日本からの関心が高いそうだ。セルビア政府は日本を評価してくれており、日本人のまじめさ、勤勉さがポイントのようだ。他にも、EU加盟に向けての課題や現状を説明し

てくださり、セルビアにおけるJICAの役割を理解することができた。特に印象的であったのは植木所長の「海外で感じたこと、経験を伝える。海外とつながると日本にはどのような影響があるのか、明らかに良い状況にするにはどうするかを考えること。そして日本に帰ると、海外で考えていたことが無くなってしまうから、海外にいた時の気持ちを残した方がいい」というコメントである。

関音花

### セルビアにおける障害者が勤務する カフェの初めての見学

店内に入るとまず代表の方がカフェやその福祉団体について説明してくださり、その後はマーケティング担当の日本人の方がお店の中を案内してくださった。実際にそこで働く障害者の方や支援者の方にお話を聞く機会があったが、障害者の方々の個々の能力に合わせた仕事が割り当てられていて、どの方も生き生きと働かされていたのが非常に印象的だった。デザインと担当している方々が描かれていた絵がすごく素敵だったため、「ドプロ」(セルビア語で「いいね」という)と非常に喜んでくれた。障害者の方々がデザインした絵が載せられたグッズがいくつか販売されていたが、どれもデザイン性が高く、その一つ一つに深い意味が込められていたことに感銘を受けたため、トートバッグを購入した。カフェの運営は営利目的でな



いため利益ばかりを気にするのは代表の意向にそぐわないそうだが、利益がないとカフェの存続が危うくなるため、よりよいカフェ運営のためのマーケティング活動に尽力する日本人の方々の姿は私の目には輝いて映った。

久保田 玲奈

### モルドヴァの学生寮に居住する ウクライナ避難民との出会い

ウクライナ避難民の方々とお話しした。私は、ウクライナ語が分からなかったが、少し理解できたのは、薬を飲まないことと生活が難しいこと、支援団体に支えられながら、モルドヴァまで避難してきたこと、小さいスーツケースで最小限の荷物だけ持って避難してきたことなどである。また少し狭さを感じるスペースで生活しており、現在においても厳しい避難生活を強いられると感じた。戦争で一番影響を受けるのは市民」という話を耳にしたことがあるが、今回お会いして、罪もない大人のみならず、子供たちに大きな悪影響を及ぼすと痛感した。

小川 莉実



ウクライナ避難民の方々とお会いした。他国や支援組織からの援助を受けながらの生活をしており、電気も節約するためか日中はほとんどの電球に光が灯っていなかった。だが一人か二人で一部屋を使用し、それぞれの部屋にシャワーやトイレが備え付けられていたため、個人のプライバシーや自由は守られていると感じた。部屋にはベッドと机、クローゼットという単純な家具のみ置かれていた。避難民の方々がウクライナ語で一生懸命説明をして下さった。短い間の交流だったが、戦争は戦地だけでなくそこから逃れた市民にも過酷な環境での生活を強制することになるのでと痛感した。非常に貴重な交流だったため、その時に感じたことや考えたことは忘れないようにし、彼らが一日でも早く祖国に戻れ、日常を取り戻せることを願う。

土橋彩加

### モルドヴァの小学校訪問

小学校に到着すると児童たちが民族衣装を着て出迎えてくれた。パラを渡してくれたり、歌や踊りも披露してくれたりしたため、非常に嬉しく感じた。このお礼に私たちが日本の踊りなどを披露すれば児童たちはより喜んでくれたのではないだろうか。次に日本文化を通して交流した。ここでも書道や折り紙は大好評で、名前

を漢字で書いて欲しいと言う児童が沢山いた。これをきっかけに日本に興味を持ってくれたら嬉しい。交流後は先生方と共に昼食を食べた。さばいたばかりの鶏肉や、手作りのワインなど豪華な料理を振舞って下さった。鶏肉を使ったスープはポトフに似た味付けで非常に美味しかった。昼食後、少しだけ校内を見学したが、日本と同様の手洗いの手順が書かれた貼り紙があり、驚いた。

土橋彩加



### クロアチアで初めての小学校訪問

ペトリニヤ町では地元の小學生と交流をし、折り紙や習字などを行った。地方の小学校ということで勝手にあまり教育が進んでいないことを想定していたが、意外にも校内には割と新しいテクノロジーが導入されており、英語を話せる子が多いことに驚いた。ここでザグレブ市内の学校

と地方の学校では教育レベルに差が生じていないのかと疑問に思った。日本の養護支援教室は他の生徒との壁を作るような体制になっているように感じるが、こちらの小学校ではできるだけ他の生徒と平等に扱い、同じように授業を受けさせていると教えていただき、日本の学校にも取り入れるべきだと考えた。小学校を出ると自然保護施設でVRを初めて経験した。この地方は三年前に大地震に襲われたが一部のエリアが未だに再建築が進んでいなかった。

久保田玲奈

### 本学の卒業生が勤務する

#### 在クロアチア日本大使館表敬訪問

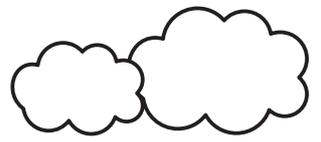
国際コミュニケーション学科を卒業し、専門調査員を務めている井澤希さんの他に、磯大使と大島書記官が歓迎して下さいました。クロアチアの関心事項を事前に伝えていたのと、それに沿ってお話しして下さいました。お話を聞いて、EUはやはり重要だと再認識し、身をもってそのことを体感した。クロアチアでは今年(2023年)の一月より、ユーロが導入されたことによりインフレが起こり、色々なもの物価が上がった。EUに加盟したのは2013年だが、今年クロアチアが加盟したばかりのシェンゲン協定は極めて重要だと実感した。シェンゲン協定とは、域内なら

出入国審査が必要なく、自由に入国できることだ。日程により、モルドヴァからオーストリアに入国し、ザグレブに行くには乗り換えが必要だったが、ザグレブからの帰りはスムーズに乗り換えすることができた。また、EU基金により、今までボスニアを経由しなければ行けなかったドゥブロヴニクは、橋により交通の便が向上した。今まで知らなかったことを知ることもでき、非常に有益な時間となった。

大竹里歩

最後に、中欧研修に参加して、視野が広がったと考える。私的に行く旅では経験できないものばかりであり、特に、学習院女子大学を卒業された先輩方が海外で活躍し、生活している姿を見ることができたことが、今回一番の習得だった。学生でも参加可能なJICAや大使館での活動を知り、実際に、そこで活動する日本人の方を見ることで、将来の夢が明確となり、挑戦したいことが増えた。JICAを訪れた時に、職員の方からの話の中で、海外に興味がある人が減っているため、今回の研修のことを周りの人に話してほしいというお願いがあった。筆者がJICAや大使館などの活動に興味を持ったように、本レポートを読み、少しでも海外に興味を持つ人が増えると嬉しい。

松川佳子



# 誠信女子大学との 海外同時授業



国際コミュニケーション学科 教授 羅京洙

本学の共通科目として、「多文化学際科目Ⅸ(東アジア地域)」を今年度より新規開講しました。本授業は、本学の協定校である韓国・誠信女子大学との同時授業です。近年、激変する東アジア地域に強い関心が寄せられており、とりわけ日韓両国における人的・文化交流の活性化による相互理解をより一層深めることが求められています。こうした状況をふまえ、本授

業は、「日韓課題探求演習」を副題とし、文化、社会、言語、教育、歴史、経済、政治などの様々な視点から新しい認識と知見を得ることを目標としつつ、将来的には日韓を含む東アジアの平和と繁栄に貢献できる人材に育つことを志します。

2023年度は、本学と誠信女子大学との協定締結20周年を迎える節目であり、それを記念する意味においても「学女・誠信同時授業」の新設はさわめて有意義であります。時差もなく、両大学の学生が共同で参加できる同時授業を実施し、協定校同士の実質的な交流を展開するという意義は極めて大きいと思います。

少人数制で行われる本授業は、知識伝達型講義ではなく、学生たちが主体的かつ自発的な姿勢と問題意識を持って臨む「課題探求解決型」のアクティブ・ラーニングを徹底する形で行います。授業の際には、両大学の学生同士でグループニングし、それぞれの課題を発見・解決・共有する形で授業を進めます。また、遠隔による授業を中心としつつも、第一週目の授業を現地にて実施します。下の写真の通り、今年度は、本学より3名の教員(大桃敏行学長、木村直恵教授、羅京洙教授)および7名の学生が現地訪問し、先方大学と交流を深めました。

本授業は、複数の現地メディアにも報じられました。有力紙の一つである

『ハンギョレ新聞』(2023年9月7日付)のインタビューに応じた姜ジンホ誠信女子大学副総長は、「今回の共同科目開設を機に、学習院女子大学と積極的かつ実質的な交流関係を続け、両大学の学生がグローバル人材として社会・文化的地平を広げること貢献したい」と述べています。

両大学合わせて27名の学生が履修した今年度の授業は、日韓の学年暦の差により、少し早めの9月1日にスタートし、12月22日に無事終了しました。以下、本授業の第一期生1名からの感想を最後までしたいと思います。

本授業を通して、韓国と日本という隣接する国でも共通点や相違点があり非常に興味深かった。従来の授業ではSNSやインターネットのみでしか情報を得ることができなかったが、実際に住んでいる人から頂く情報によつて表面的に見えている情報だけがすべてではなく、情報の取捨選択を行うことはとても重要であると感じられた。私が学生である時代にこのような講義に参加できて非常に感謝している。今後、学習院女子大学、学習院大学のピックアップされるべき授業になっていくであろうことを確信することができた授業であった。



学習院女子大学演劇公演

## 『シェイクスピアの名場面： 愛のセリフとワークショップ』

公演担当 国際コミュニケーション学科教授 古庄 信

2023年5月27日(土)午後2時より、本学やわらぎホールにて、標記の題名でシェイクスピア劇の公演が行われました。過去13年間続いてきたこの公演は、コロナ禍のため、昨年まで3年間休止となっておりましたが、パンデミックも落ち着き、対面授業も始まった中で再開でした。しかしこれまで招聘していた英国劇団の来日が依然困難な中で、結果的に東京在住の、英国人を中心とした外国人俳優の皆さんが公演参加に名乗りをあげてくださり、今回の公演へとこぎつけることができました。

とはいえ、いつもは別々な活動をしている俳優たちですから、限られた稽古時間で、一つのシェイクスピア作品を作り上げることは至難の業です。そこで古庄が提案したのは、シェイクスピアの名作の中から「愛のセリフ」で有名な名場面だけを上演するオムニバス形式でした。結果的に『ロミオとジュリエット』のバルコニー・シーン、『ハムレット』のハムレットとオフィーリアの決別シーン、『十二夜』の公爵と主人公ヴァイオラとの愛の語らいシーン、『から騒ぎ』の恋人たちの告白シーン、そして『夏の夜の夢』の二組の恋人たちの愛の目覚めのシーンが選ばれました。

今回の公演の見どころのひとつは、異なる作品群の様々なキャラクターを同じ役者たちが演じ分けた点です。たとえばジュリエットを演じたパウラ(Paula Berwanger)が、次にオフィーリアを、ロミオ役のブランドン(Brandon Francis)は『夏の夜の夢』のデミトリアスを、ハムレットを演じたクリス(Chris Parham)が『から騒ぎ』のベネディックを、『十二夜』のヴァイオラを演じたサラ(Sarah MacDonald)が『夏の夜の夢』のヘレナを、と次々に別の作品の別の登場人物を演じ分けるのです。前のシーンで出た役者が全く異なるキャラクターを次のシーンで演じる、というのは一つの作品でもよくあることですが、今回は特に異例の演出であったといえます。その演出を引き受けてくれたグレッグ(Greg Dale)自身も『夏の夜の夢』で妖精の声を演じてくれました。また、これらの5つの作品のそれぞれの場面の説明をするナレーター役として、古庄自身も出演するなど異例づくめの公演となりました。

もうひとつ、過去のシェイクスピア劇公演と今回の公演が異なったのは、役者たちの上演後、学生有志が舞台上上がり、役者たちとセリフ朗読を体験し、指導を受けるというワークショップを設けたことです。参加者の中には、長いセリフを完璧に暗記して、感情を込めた素晴らしい演技を見せてくれた学生もいて、やわらぎホールは拍手喝さいでした。

最後に、ご観劇いただいた学長先生はじめ本学の先生方、職員の皆様方、そしてご来場の皆様方、当日の運営に参加した学生スタッフの皆さんに厚くお礼申し上げます。



# 令和5年度 特別授業の紹介

## 日本文化学科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
乾物を用いた災害食	田淵 弘子	ソムリエ 文教大学・昭和学院短期大学 元非常勤講師	令和5年6月14日	5限	日本文化演習I・IIIK	宇都宮 由佳
世界に誇る日本の食文化	佐竹 力總	株式会社美濃吉 代表取締役会長 (第10代目当主)	令和5年7月3日	2限	日本生活文化史III(食文化)	宇都宮 由佳
実証研究のための心理統計	山田 剛史	横浜市立大学 都市社会文化研究科 教授	令和5年7月5日	3限	日本文化演習I・IIIR	澤田 匡人
都市と時間 ー東京における都市再開発を通してー	福田 卓司	株式会社日本設計 常任顧問	令和5年7月7日	5限	日本文化演習I・IIIP	清水 敏男
日本における柔道の展開とフランスの柔道	中嶋 哲也	茨城大学教育学部 准教授	令和5年7月10日	1限	現代文化論VII (スポーツ文化論)	橋本 彩
近代日本思想史研究の視点と方法 ー田中王堂を手がかりとして	山田 大生	学習院女子中等科 非常勤講師	令和5年7月11日	4限	日本文化演習I・IIID	木村 直恵
心理学研究とは何か :地域との協働を通じて見えてきたこと	大久保 智生	香川大学教育学部 准教授	令和5年10月13日	4限	日本文化基礎演習II・IVR	澤田 匡人
ワインの特徴と歴史	原口 真一	前日光市立足尾中学校 校長	令和5年12月1日	3限	比較文化論VI(嗜好)	品川 明
和食を支える醸造調味料 ー醤油・本みりんー	館 博	東京農業大学名誉教授・博士 (農芸化学)	令和5年12月5日	2限	日本生活文化史IV(食文化)	宇都宮 由佳
狂言の伝承者に聞く 狂言のお話とプチ体験指導	山本 泰太郎	大蔵流山本家狂言方	令和5年12月6日	1限	伝統文化論V(舞踊)	森田 ゆい
アート アクティヴィズム: ソーシャルアクションとしてのアート	長澤 伸穂	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校美術学科教授、 演劇学部兼任教授	令和5年12月8日	5限	日本文化演習II・IVP	清水 敏男

## 国際コミュニケーション学科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
古代ギリシアにおける説得と強制 ープラトン『法律』を読むー	葛西 康徳	東京大学名誉教授	令和5年5月17日	5限	ヨーロッパ文化論	正本 忍
海外および日本における日本語教育の 現場報告	菅 陽子	國立中正大學 国際交流プロジェクト研究員	令和5年5月20日	1限	言語地理学	中島 崇文
ニュージーランドの多文化主義とアジア系 青少年の生活経験	宋 滄珠	オークランド大学人文学部 教授	令和5年5月30日	5限	国際コミュニケーション演習 III・IVK	羅 京洙
日本で暮らす外国人とその課題	中山 実嶺	株式会社経済法令研究会	令和5年6月13日	2限	ボランティア論II	伊藤 由紀子
国際援助活動の実態と課題	鈴木 のぞみ	一般財団法人 日本国際協力センター	令和5年6月13日	4限	国際コミュニケーション演習 IQ・IIIQ	伊藤 由紀子
1950~70年代日本写真界における生活 (文化)記録運動について	李 範根	学習院女子大学 非常勤講師	令和5年6月23日	4限	国際コミュニケーション基礎 演習I・IIIA	ウーゴ ミズコ
歴史の中の感染症	小田中 直樹	東北大学教授	令和5年7月4日	5限	フランス文化論I	正本 忍
作家が語る、作家と語る ー「不気味なもの」ー	藤野 可織	小説家、 非常勤講師(同志社女子大学)	令和5年7月5日	4限	国際コミュニケーション演習 II・IIIL	澤田 知香子
フランスにおける宗教と国家 ーパリのノートルダム大聖堂は誰のものかー	岡崎 敦	九州大学名誉教授	令和5年11月14日	5限	フランス文化論II	正本 忍
「高床」に住むということ	佐藤 桂		令和5年11月15日	1限	比較居住文化論	ウーゴ ミズコ
ポッティチェリとレオナルド・ダ・ヴィンチ	川野 美也子	元学習院大学非常勤講師 現エコール・プッチェビエ講師	令和5年12月15日	3限	イタリア文化論II	ウーゴ ミズコ
作家が語る、作家と語る	藤野 可織	小説家、 非常勤講師(同志社女子大学)	令和6年1月10日	4限	国際コミュニケーション演習 III/IVL	澤田 知香子
フランス文化のなかのブルターニュ地方 ー第3共和政期を中心にー	原 聖	女子美術大学名誉教授	令和6年1月11日	2限	外国語演習IIC	正本 忍
深海環境と生物	渡部 裕美	国立研究開発法人海洋研究開 発機構 准研究主任	令和6年1月15日	4限	国際コミュニケーション基礎 演習IIP/IVP	熊谷 英憲
マーク・トウェインとユーモア	宇沢 美子	慶応義塾大学 教授	令和6年1月15日	3限	国際コミュニケーション演習 IIB/IVB	佐久間 みかよ

## 日本文化学科、国際コミュニケーション学科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
諸種日本酒の利酒	遊佐 勇人	人気酒造株式会社蔵元	令和5年7月21日	3限	日本文化演習I・IIIN 国際コミュニケーション演習I・IIIU	品川 明
eスポーツプログラミングワークショップ	五十嵐 勝	株式会社セガ ジャパンアジア パブリッシング事業部 eスポーツ推進室 室長	令和5年11月6日	5限	国際コミュニケーション演習IIS、 日本文化演習IIT	丸山 信人
メタバースの基礎知識 ーアイデア次第で現実世界ではできない ことを実現できる可能性にあふれた空間ー	大西 知生	一般財団法人日本メタバース 協会 代表理事	令和5年12月15日	4限	日本文化演習II・IVN 国際コミュニケーション演習II・IVU	品川 明

## 共通科目

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
日本の会社に就職を希望する学生に対する敬語を使用した模擬面接	藤原 仁		令和5年5月12日	4限	日本語III A	野口 直子
すもう～古代宮中の節会	寒川 恒夫	静岡産業大学スポーツ科学部 特任教授	令和5年6月8日	2限	社会環境論IV「遊びと祝祭」	橋本 彩
家庭でできる味噌づくり	栩野 典子	台東区台東保健所 会計年度職員 管理栄養士	令和5年6月28日	2限	生活文化演習III(食品製造)	宇都宮 由佳
ヨガの世界観(呼吸を通して心身をつなぐ)	島村 朋子	tada.ima Yoga House 主宰 ヨガ講師	令和5年7月4日	2限	スポーツ・健康科学演習IA 東洋の養生法 (ヨガと呼吸法)	橋本 彩
女性のライフステージとウェルビーイング	寺田 静	参議院議員	令和5年10月26日	1限	生活環境論II 「ウエルネス論」	橋本 彩
首都パリの拡大と民衆の住まい	中野 隆生	学習院大学 元教授	令和5年11月1日	5限	西洋近代史概論	正本 忍
探求調査のための調査法・基礎講座	酒井 信一郎	立教大学社会学部 メディア社会学科 兼任講師	令和5年11月10日	5限	インディペンデント・ スタディ(課題研究)	木村 直恵
インクルーシブスポーツ:ゴールボール体験	高田 朋枝	元ゴールボール日本代表選手	令和5年11月21日	2限	スポーツ・健康科学演習IIA (ニュースポーツ・ インクルーシブスポーツ)	橋本 彩
懐石にみる日本の心と味	中澤 宗寿	表千家茶道 教授	令和5年11月24日	2限	生活文化演習II (味わい教育)	品川 明
禅の食事作法	篠崎 英治	龍澤山善寶寺(曹洞宗) 広報主任・副悦 地藏院副住職	令和5年12月15日	2限	生活文化演習II (味わい教育)	品川 明

## 学芸員課程

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
私の制作する絵画の画題内容について	飯沼 知寿子	画家、子供造形教室 代表	令和5年6月10日	11時～14時	博物館実習IB	小勝 禮子
私の制作する絵画の画題内容について	浅見 貴子	画家	令和5年9月23日	11時～14時	博物館実習IIB	小勝 禮子

## 司書課程

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
不動産業界における電子契約をはじめとしたDX(デジタルトランスフォーメーション)の現状と今後の展望	武井 紀久	ココレア株式会社 代表取締役	令和6年1月15日	2限	図書館基礎特論	江藤 正己

## 教職課程

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
教育実習の実際	飛田 健次	学習院女子中・高等科 教諭	令和5年4月22日	5限	教育実習I	大桃 敏行
学校の教師という仕事	塚本 桂子	新宿区立西早稲田中学校 校長	令和5年5月29日	5限	教職概論	大桃 敏行
青年期のアイデンティティ発達に纏る諸問題:学校不応答を中心に	畑野 快	大阪公立大学 准教授	令和5年6月23日	4限	教育相談	澤田 匡人
進路指導とキャリア教育	永作 稔	十文字学園女子大学 准教授	令和5年8月9日	3限	生徒・進路指導論	澤田 匡人
続・教師の職能成長と学校経営	冠木 健	新宿区教育センター 国際理解室 教育研究調査員	令和5年11月8日	5限	教職実践演習(中・高)	澤田 匡人
教育評価と学習意欲	鈴木 雅之	横浜国立大学 准教授	令和5年12月8日	5限	教育心理学	澤田 匡人

# 神田女学園高等学校 NCLプロジェクト実施報告

日本文化学科 教授 時安 邦治

本学は山脇学園高等学校と神田女学園高等学校の2校と高大連携協定を結んでいます。令和5年度、山脇学園中学校・高等学校の「平和教育」に本学の教員が協力し、授業を提供しました。本学の「本領」が発揮されるテーマであり、ウクライナやイスラエルで激しい戦闘が続いている今、中等教育段階での「平和教育」をサポートすることは本学の重要な役割でしょう。一方、神田女学園では「NCL(ニコル)プロジェクト」という探究型授業が実施されており、本学も令和5年度からこれに協力しています。以下では、プロジェクトの一環として本学に神田女学園の生徒を迎えて実施したワークショップの概要を述べます。

6月1日、社会学を専門とする時安が神田女学園の8名の高校生と「女らしさ・男らしさを〈見える化〉しよう——切る・貼る・考える」と題したワークショップを行いました。写真を多用した雑誌から女性と思われる写真と男性と思われる写真を切り抜き、男女別に模造紙に貼っていく作業をし、その後両方を見比べて、写真に表現される性差について話し合いました。ポイントは「いかにわれわれが性差を〈当たり前〉のものとして受け取っているか」に気づくことです。さらに、日常生活では見えない(意識されない)ものを見ようとする態度が社会学の鍵だと知ってもらうことも、このワークショップのもう一つの目的でした。

事後に高校生に感想を書いてもらいました。ワークショップは好評だったようで、こちらの意図が高校生がよく汲み取ってくれていました。



# 高大連携協定に基づく平和教育プログラム (山脇学園中学・高等学校)

国際コミュニケーション学科 教授 島山 圭一

令和5年10月、11月の2回、山脇学園中学・高等学校との高大連携協定に基づく「平和教育プログラム」として、800人を超える中学生を対象に「戦争と平和を考える」と題する講義を行いました。

山脇学園初代校長の山脇房子先生が、第一次大戦時、ベルギー難民救済に尽力したことに加え、「再び世界の各地で戦火が広がっている中で、生徒たちが世界に目を向け、未来の平和をどのように築くかということについて考える」というのが趣旨です。

冷戦の終焉は世界の構造を一変させました。以来、民族紛争・宗教紛争が多発し、テロなど非国家主体による「新しい戦争」が始まり、またグローバル化の進展による貧困・飢餓・抑圧・差別を含む「構造的暴力の世界的拡散」が生じるなど、戦争と平和の問題は私たちにも他人ごとではなくなりました。戦争や紛争を具体的に解決する知恵と、平和の構築・維持のための実践が問われています。このプログラムはまさに時宜を得た有意義なものと言えます。

講義では、「理想(〜べき)や先入観(〜はず)に捉われすぎず、実態(〜である)を謙虚に見つめること」「物事に心を通わせて考え、特に命や人権や平和などについては、相手への同情ではなく、困難な中でも真剣に立派に生きていることへの尊敬と、自分の生き方を問い直す当事者意識を忘れないこと」などを強調し、次のような事実を説明しました。

- ・戦争の原因や紛争の要因は複雑・多様で、平和の希求が戦争を拡大し、正義の追求が戦争を激しくすることもあり、戦争は「平和」や「正義」の対立概念ではない
- ・現代でも、戦争は、紛争解決の最終手段として認められた国際社会の制度である
- ・ただし、戦争を少なくし、戦争の原因となる紛争を小さくすることは可能で、そのための方法が「安全保障」と「平和の実践」である
- ・冷戦時代、平和の課題は、国家間の戦争で世界が乱れないようにする「国家の安全保障」だったが、冷戦後は、無差別の大量殺傷、圧政による国内での迫害や大量虐殺、環境破壊などによる人類共通の危機に対応する「人間の安全保障」が課題に加わった
- ・平和は単に戦争がないことではなく、今日では、「国家と国民の生活が安全で社会秩序が保たれ、個人の自由が保障され、皆それぞれに充実した人生を過ごせる環境が提供される」ことが最低条件と考えられている
- ・個人が願うだけでは平和は実現せず、「紛争解決」「平和構築」「平和維持」など、大国の外交・軍勢力や国際機関・NGOによる、膨大なコストと具体的な努力が必要である



皆、熱心に耳を傾け、実に多くの質問・感想が寄せられました。山脇学園中学・高等学校からは、誰もが平和を願っているにも関わらずそれを実現することの難しさ、それでもその中で「人間の尊厳」を追求していくことの大切さについて考える貴重な学びの機会となったとのお返事をいただきました。

# タイの事例にみる援助の効果

国際コミュニケーション学科 准教授 櫻井 宏明



皆さんは「ODA」「政府開発援助」ということばにどのようなイメージをもたれますでしょうか。おそらくよいイメージを思い浮かべないと思います。実際にアンケートをとると悪いイメージを回答する割合が高いのは事実です。他方で、実際に発展途上国への援助に携わる援助関係者は援助が現地の人々によい影響を与えていると信じています。

援助の効果については研究者の間でも議論がわかれており意見の一致をみていません。一般的には、受取国となる発展途上国の統治機構がしっかりしていれば、援助は現地の人々の生活向上に効果を得られるものの、そうでない場合、

一般の人々まで恩恵が回らないという認識が共有されている程度です。

国家公務員として比較的長期間にわたり国際協力業務に従事する中で、国家議員を含む一般の方々も援助関係者、あるいは研究者間での援助に関する認識の差に直面し、自分なりに援助が役に立つか「データを収集し」「分析を実施し」「検証すること」でその効果を確認したいと考えるようになりました。その内容はタイ駐在歴があることからタイを中心に絞り分析・検証を行いました。実際に半世紀を超えるタイへの援助に対する分析の結果、得られた成果は以下のようなものでした。

第1に、援助が経済成長に与えた効果に関する分析です。経済成長は貧困削減に貢献することは経済学で強固に証明されていますので、援助が経済成長に与える効果があれば貧困削減を通じて受取国であるタイ国民の幸福に貢献していると考えることが出来ます。実際にデータを収集し、経済分析を行ったところ、経済協力は経済成長に一定の貢献をしているという結論を得ることができました。

第2に、経済協力の受取が財政規律に与える影響に関する分析



です。せっかく受け取った経済協力により余裕ができた受取国の予算を湯水のように使っては援助の意味がありません。こちらも半世紀を超えるタイの財政データを収集し経済分析を行ったところ、タイへの経済協力は国内借入の抑制を通じて財政規律が一定程度働いているという結論を得ることができました。ただし、データを1960年代、1970年代に限定すると財政規律への効果がみられず、議論は少し変化すると考えられます。

以上から、タイへの経済協力はタイ経済に一定の効果を与えたことが示唆されました。他方、ベトナムへの援助について同様の分析を実施

しても同様の結論がみられず、ベトナムへの援助の効果は今後に期待されることも示唆されました。この結果から、今後はタイの経験が他の発展途上国へも応用できるよう、主に援助が経済成長を引き起こすより詳細なメカニズムについて明らかにしていきたいと考えております。

講演会では参加いただいた方々から今後の研究発展に役立つ大変「示唆に富むご意見・ご質問等いただきましたことにお礼申し上げます。このような機会も活用し研究を進展させるとともに、研究成果を学生の皆さんをはじめ社会に還元していきたいと考えています。



# 天の果てから地の底まで、 環境と資源の自然科学的調査

国際コミュニケーション学科 教授

熊谷 英憲

講演では、私の研究遍歴と現在取り組んでいる話題についてお話し致しました。

学部では地球物理学の基礎教育を受けましたが、数理的な扱いが不得手だったことから、地質学的地球化学に進路修正して研究生活を始めました。地質調査の修業を積んできた同僚とは違った視点をもてたことで、現在があとと感じています。海洋科学技術センターへの採用が、幸運にも特殊法人改革直前のタイミングでしたので、研究対象としてきた海底火山への潜航調査も叶い、海底資源調査にも従事し、研究の幅を広げることができました。

20年来の雑多な研究テーマを統合しようと、「地球環境のシステム論」を模索しています。地球の営みとは不整合な資源利用の在り方、煽り立てられる危機意識と



はうらはらに、気分先行で進んでいる(少なくとも国内では)と感じられる脱炭素の潮流に対峙する。私なりの検証作業でもあります。環境と人類活動に関わる様々な問題の顕在化は、地球システム論的には、生態系を含めた地球表層での速いサイクルの物質循環に、天体

としての地球本体ともいうべき固体地球の遅い物質循環に組み入れられていた資源を片道で持ち込み発生している不均衡の故と見做せます。化石燃料という地球深部の膨大な炭素源を百年程度の短時間で採掘排出することでの大気中二酸化炭素増に起因する人為的温暖化はその顕著な例です。地球システムの進化をサブシステムの分化とその間の物質交換形態の多様化と捉えれば、これは、進化過程そのものではありません。

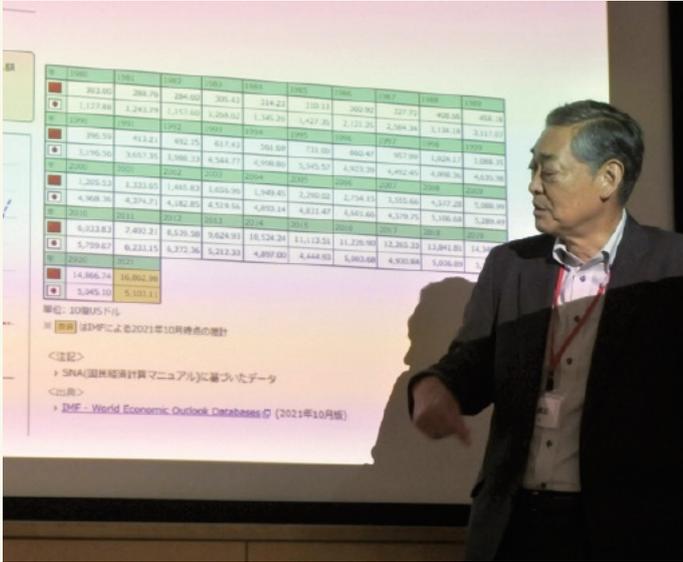
一方、地球システムの振れ幅はずつと大きく、現在の数分の1の二酸化炭素濃度で陥る低緯度までの凍結状態(全球凍結)から恐竜の闊歩した頃のまったく氷河のない温室状態までが実現してきました。とはいえ、新たな定常状態への過渡的变化はサブシステム構成要素に影響を与え、ヒトが好んできた直近の地表環境を損なうものになります。新たな状態への移行には百万年、千万年の期間を要するとはいえ、現在の地表環境と生態系から恩恵を受けてきた我々の文明スタイルに不健全状況に陥るにすぎません。既に、人類活動の影響は地層記録にも現れるほどとなっており、これを以て独立の地質時代「人新世」を定義しようとする動きもあります。生み出した



人工物の総量が生態系を凌駕しつつあるとの推定もあり、我々の選択の総和も表層環境を変動せしめているとして認識すべき時期とも思えます。現代社会が前提とし慣れ親しんだ地表環境からの急速で大幅な逸脱を是としないならば、不均衡の是正は避けられず、それは、人間圏への入力を制限するか(脱炭素的解決)、固体地球への出力を拡大するか(地球工学的解決)、いずれにしても、大きな課題に取り組むことを求めます。本稿では時間配分の拙さから講演で十分にお話しできなかった点を含めて記させていただきました。

## 国際学研究所(GIIS)だより

国際学研究所長、国際コミュニケーション学科 教授 金野 純



当研究所は、本学の学部・大学院の教育理念の達成を図るために設けられた付属教育研究機関です。二〇一三年四月に組織されて後、十一年が経とうとしています。研究および活動分野は(1)国際文化交流、(2)国際問題、(3)比較文化、(4)アジア・太平洋研究、(5)外国における日本研究支援です。

当研究所は海外の研究機関との研究交流協定の締結を積極的におこなうと同時に、国際シンポジウム・研究集会、講演会・セミナー・展示等を開催し、多くの研究所叢書や英文ジャーナルを刊行することに

よって、学生や社会に開かれた研究の発信をおこなってきました(情報発信に関して言えば、本年度から研究所のホームページを一新し、学生の目線から本学の研究イベントを紹介するコーナーを設けるなどの試みも開始しました)。

コロナによる種々の規制が無くなくなったこともあり、本年度、研究所においては非常に活発な研究活動を展開しました。その研究・教育活動を紹介したいと思います。

六月には、立命館大学大学院国際関係研究科客員教授の山本忠通先生による講演「平和構築と平和の文化」を開催しました。山本先生

は、元国際連合事務次長、事務総長特別代表兼国連アフガニスタン支援ミッション(ZUNAMA)代表、元在ユネスコ代表部・ハンガリー特命全権大使などを歴任され、学術と実務面において第一線で活躍されており、多くの学生にとって有益な講演となったことは間違い無いでしょう。さらに同

月には、本学国際学研究所客員研究員の四方八重戸先生によるセミナー「ジェンダー平等と女性のエンパワメントの推進・教育分野における課題及び新型コロナウイルスの影響と取り組み」が開催されました。

また七月には、中国からも研究者を招き、国際フォーラム「日中交流の歴史と未来」を開催しました。本フォーラムには、横井裕氏(前駐中国大使)、王中忱氏(清華大学教授)、李嘉冬氏(東華大学准教授)に講演者として参加していただきました。実務面・学術面における豊富な経験を背景とした講演は一〇〇名を超える参加した学生たちにとっても印象に残るものだったと思います。特に政治的な軋轢と民間交流の進展が同時に起こっている現在、両国の政治・社会・文化に深い知見を有する識者による講演は時宜に合った企画だったと思います。

さらに十一月にはイタリアのカ・フォスカリ大学のカロリーナ・ネグリ先生をお招きして「イタリアにおける翻訳ブームと新しい日本文学史のプロジェクトの一考察」と題したセミナーを開催しました。イタリアの視点からみた日本文学研究は、ほとんどの学生にとって新たな知見に満ちたセミナーだったと思います。



以上、紹介したフォーラムやセミナーの内容から改めて感じるのは、本学のリベラルアーツ教育を背景としたインターディシプリナリー(学際的)な魅力です。ひとつの学問分野を超えて多面的に展開されるフォーラムやセミナーの多様性は他の研究機関に類を見ないものと自負しています。今後、海外とのスムーズな人的交流が可能になっていく流れの中で、より積極的かつレベルの高い研究活動を展開し、本学の研究を更に活性化して行きたいと考えています。



## 留學生報告

協定留學生 (ラオス国立大学)  
ルアンパシー・インティラー

私は学習院女子大学に留学してもう9ヶ月が経ちました。もうすぐ一年になって、帰国する日も近づいてきますが、まだ帰りたくない気がします。今まで日本に留学している間に、様々なことを学び一人暮らしの生活にも慣れてきました。今と日本に来たばかりの日を比べると、表す気持ちがとても違います。

初めての一人暮らしで日本に生活するのはとても大変だと思います。自分の母語と日本語とても違うので今まで困ったことがあります。バディや友達、国際交流推進センターの人たちなどが案内してくれて解決できました。また、新しい人々と出会えたことでたくさんの友達を作ることができました。日本人だけでなく、様々な国からの留学生たちとも友達になって国の文化的なこととたくさん学べました。一緒に遊んだり勉強したりご飯を食べたりして、本当に嬉しかったです。加えて、色々な場所へ旅行行って、たくさん思い出を作りました。こんな素晴らしい経験ができてラオスに帰っても絶対忘れられないです。日本に



留学している間は日本語を勉強することだけではなく色々な日本の文化も勉強しました。例えば茶道の授業です。茶道の授業の中で毎週新しいお菓子や抹茶の飲み方を学びました。先生はとても優しく、授業の時ゆっくり説明してくれました。そして、日本の素敵な浴衣と着物を着る機会があつても良い経験になりました。

今回で1年間、学習院女子大学に留学できるのは私にとって本当に幸せで貴重な期間です。様々な事と日本語を教えてくださった先生たちのおかげで、知識がたくさん得られて私の日本語のレベルももっと良くなりました。これからも日本語の勉強を一生懸命頑張ります。今回ご支援くださった皆様、本当にありがとうございました。



## 留學生報告

国際コミュニケーション学科  
4年(中国出身)  
馬 陸 辞 玉

皆様、ごきげんよう。学習院女子大学での留学生生活が長いようで短いようで、間もなく幕を閉じることになりました。そして、このように「ごきげんよう」を日常生活の挨拶として出来るのもあとわずかとなりました。振り返ってみると、4年間は本当に充実していたと感じています。最初は遠隔授業に慣れず、不安や困難を感じることもありましたが、次第に自分自身が成長していく様子を感じることができました。

留学中には、たくさんさんの素晴らしい思い出を作ることができました。友人と一緒に旅行に行ったり、日本の伝統的な行事やイベントに参加したり、目に見えない宝物を数え切れない程手に入れました。また、授業や研究活動を通じて、専門知識を深めることもできました。先生方やクラスメートと共に学ぶことは、私の視野を広げ、新たな視点を得ることができました。

そして、留学生生活を通じて、様々な価値観や文化に触れる機会もありました。個人的には、他の国の留学生と



交流することができたことが特に貴重で、言葉や文化の違いを乗り越えた友情は、一生の思い出になっています。また、留学中には日本人の友人とも交流を深め、日本の文化や習慣をより理解することができました。

これからの目標は、外国人声優として日本で活動し続けることです。日本の留学生生活を経験する中で、日本の声優業界に深く触れる機会がありました。声優の繊細な表現や役作りに感銘を受け、自分もその世界に身を投じたいという強い思いが湧いています。

日本での留学生生活は、ただ単に学問を追求するだけではなく、自己成長や人間関係構築の場でもありました。日本の豊かな文化や風景、人々の温かさに触れることができ、心豊かな留学生活を送ることができました。これからもずっと日本との絆を大切に、日本での経験を誇りに思いながら、新たなチャレンジに向かっていきたいと思っています。

それでは皆様、ごきげんよう。



## 海外留学報告

国際コミュニケーション学科

3年

相澤 舞



私はイギリスのリーズ大学に一学期間の協定留学をしました。リーズ大学はイギリス本島の中心に位置しており、広大なキャンパスには古き良き赤煉瓦の建物とモダンな建物が混在しています。学内は朝から晩までソサエティやクラブ活動、イベントに参加する学生で活気に満ちていました。

リーズ大学では留学生が専攻に関わらず履修できる科目が充実しており、個別にチューターと履修科目について相談ができたのが心強かったです。設備の整った4つの図書館では常に多くの学生が机に向かっており、その姿に刺激を受け、私も勉学に励みました。なかでもセミナーというタイプの授業では毎週入念な準備と臨機応変な対応が求められました。かなりハードでしたが、特に国際政治のセミナーではイギリス人が考える政治観や、問題意識を持っている事柄について教授と学生で対話ができ、今後ゼミに生かすことができる貴重な経験となりました。

また、リーズ大学はおよそ4万人いる学生のうち、約36%（1万4千人ほど）が留学生という非常に国際的な大学で、新しい友達との出会いの機会が豊富でした。私はバディスキームと呼ばれる、似た趣味をもつ学生と出会えるサービズを利用したり、大学が主催するハイキングツアーに参加したり、かなり活動的な日々を送りました。毎日が新たな学び、感情、価値観との出会いで溢れていて、人との出会いにおいては一期一会という言葉は何度も噛み締めました。特に国と文化が違うフラットメイトと過ごすことで、相互理解や柔軟性が育ったと思います。良いことも大変なことにも全力で向き合った日々は生涯の宝物になり、さらに前に進む糧になると信じています。

最後に、留学前からサポートし続けてくださった国際交流推進センターの方々、何よりも私の留学という願いを応援してくれた家族へ深い感謝の気持ちを述べたいと思います。



## 海外留学報告

国際コミュニケーション学科

4年

伊藤 美紅



私は、台湾にある実践大学に1年間留学をしました。大学1年生から選択授業で第二言語として中国語を学ぶうちに、より実践的な中国語を学びたいと考え始め、留学を志望するようになりました。また、初めての海外生活だったので、治安と、日本と交流の深い国という点で台湾を留学先に選びました。

実践大学は首都台北にあり、九份や台北101などの有名観光地にはバスや電車ですぐ訪れることができます。また、大学を一步出れば飲食店や薬局があるので、生活に困ることは全くありませんでした。実践大学は大学内に女子寮があるので、複雑な手続きがなく、受け入れの環境が整っているのは大きなメリットだと思います。また、交換留学生向けに台中や台南などの都市を訪れることができるショートトリップも企画されているため、留学中は台北だけでなく様々な都市に行ける機会があります。

授業は、国際ビジネス学科の授業はもちろん、英語で開講されている授業であればどの学科の授業でも履修することができます。おすすめは中国文化を学ぶ授業です。台湾

と中国の文化的な繋がりを学びながら、実際に台湾の伝統的な衣装を着たり、伝統的なお菓子を食べたりできます。日本だけではなく他の国からの留学生も多く参加しているので、交流の輪を広げるのにもおすすめです。

私は、大学内にある語学センターで夜間の中国語クラスにも1年間通いました。その成果もあり、留学終了時には中国語で日常会話を楽しめるレベルに到達することができました。実践大学は他国からの交換留学生が多く、様々な経験ができる学校なので留学先としてとてもおすすめです。

コロナ禍での留学は困難も多くありますが、国際交流推進センターの方をはじめ多くの方の助けで無事留学を終えることができ、とても感謝しています。留学で得た経験をもとに、これからも精進していきたいです。



2023

# 国際交流推進センター 行事報告



## 4月

- 19日 協定留学説明会
- 19日 留学生Welcome Party
- 24・25日 IELTS説明会
- 27日 TOEFL説明会

3月に来日した  
協定留学生の  
Welcome Partyを  
対面で開催しました。



国立劇場で、歌舞伎の  
見かたについての説明を受け、  
「日本振袖始一八岐大蛇と  
素戔嗚尊一」を鑑賞しました。

- 3日 (霞会館助成)歌舞伎鑑賞教室
- 22日 留学生の話を知ろう!(ポーランド)
- 24日 留学生ゆかた講習会

## 6月



- 20日 協定・ダブルディグリー留学説明会
- 21日 留学生Welcome Party
- 26日 IELTS説明会
- 27日 TOEFL説明会

## 9月



新宿区落合にある  
大正9年より続く  
染色工房「染の里おちあい」で、  
染め物体験をしました。  
協定・私費留学生6名が  
参加しました。

- 17日 留学生の話を知ろう!  
(台湾、ドイツ)
- 18日 留学生染め物体験
- 27日 留学生の話を知ろう!(チェコ、エストニア)

## 11月



- 18日 留学生Farewell Party

## 1月

協定校への留学を目指す  
学生向けに、春学期と秋学期に  
それぞれ協定留学説明会と、  
留学を経験した学生に  
直接質問ができる座談会を  
開催しています。

- 9日 留学経験者との座談会
- 11日 TOEFL ITPテスト学内受験
- 25日 留学生の話を知ろう!(韓国)

## 5月



本学で学ぶ協定留学生や  
私費留学生が、自分の母国や  
所属大学を紹介する会を定期的  
に開催しています。  
今年度は対面で実施しました。

春学期で卒業または留学期間を  
終えて帰国する留学生の送別会です。  
七夕をテーマに実施しました。



- 6日 留学生Farewell Party
- 13日 留学生の話を知ろう!(イギリス、ラオス)

## 7月

世界遺産となっている富岡製糸場  
の見学ならびに少林寺山達磨寺にて  
ダルマの絵付け体験をしました。  
協定・私費留学生27名が参加し、  
親交が深まりました。



- 3日 協定留学経験者との座談会
- 12日 TOEFL ITP テスト学内受験
- 17日 (霞会館助成)留学生バス旅行
- 27日 留学生の話を知ろう!(韓国・台湾)

## 10月



- 2日 (尚友倶楽部助成)学習院女子大学長杯  
留学生日本語スピーチコンテスト
- 8日 留学生の話を知ろう!(イタリア、アメリカ)

## 12月



## 留学制度について

本学在学中に留学するには、以下の4つの方法があります。

- 1 協定留学: 学内選考を経て、協定大学に留学すること。
- 2 私費留学: 学士の学位授与権のある大学または当該大学に直結する附属機関に、事前に本学の許可を受けた上で留学すること。  
(留学先は自分自身で選択。プログラムの内容によっては留学と認められない場合もあります。)
- 3 ダブルディグリー留学: 海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得すること。(本学はカナダのレスブリッジ大学との間でダブルディグリー協定を締結しています。)
- 4 その他の留学: 本学を休学して、海外の語学学校・専門学校などへ留学すること。(夏休みなどの長期休暇を利用して留学する場合には休学する必要はありません。)

区分	留学期間	単位認定	学費	備考
協定留学	原則2学期間(1年)	可	本学学費全額納入・協定校学費免除	1学期間(半年)の留学も可能・4年間で卒業可能
私費留学	原則2学期間(1年)	可	在籍料相当額納入・留学先学費は自費	1学期間(半年)の留学も可能・4年間で卒業可能
ダブルディグリー留学	①2年次秋学期から留学する場合: 原則5学期間(2年半) ②3年次秋学期から留学する場合: 原則4学期間(2年)	可	在籍料相当額納入・留学先学費は自費	最短5年間で卒業
その他の留学	1学期～学期別に定める休学可能期間内	不可	在籍料相当額納入・留学先学費は自費	休学扱い・4年間で卒業不可

## 協定留学について

### 1. 協定留学とは

本学では、現在17の国・地域の25校の大学と交換留学協定を締結しています。この25校の協定大学へ、学内の選考を経た上、本学より推薦を受けて派遣されることを協定留学といいます。

### 2. 学生交換・派遣プログラムのある協定大学一覧(2024年2月現在)

国名	大学名/所在地	語学力の目安 ※①、②、③
イギリス	リーズ大学 <sup>※③</sup> リーズ/ウェスト・ヨークシャー州	IELTS 6.0(Overall)以上 各5.5(L, R, W & S)以上
フランス	西部カトリック大学 アンジェ	ヨーロッパ言語共通参照枠B2レベル
イタリア	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 ヴェネツィア	IELTS 5.5(Overall)以上 またはTOEFL iBT 72点以上 または実用イタリア語検定準2級以上 またはPLIDA, CELI, CILS B2レベル以上
ドイツ	ハンブルク大学 ハンブルク/ハンブルク州	ゲーテ・インスティテュート・ ドイツ語検定B1レベル程度 またはドイツ語検定試験2級程度
	ミュンヘン大学 ミュンヘン/バイエルン州	ゲーテ・インスティテュート・ ドイツ語検定B1レベル程度 またはドイツ語検定試験2級程度 またはIELTS 5.5(Overall)以上 またはTOEFL iBT 90点以上
チェコ	パラツキー大学 オロモウツ	TOEFL iBT 72点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
ポーランド	ワルシャワ大学 ワルシャワ	TOEFL iBT 75点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
ルーマニア	ブカレスト大学 ブカレスト	TOEFL iBT 72点程度 または IELTS 5.5(Overall)以上
エストニア	タリン大学 タリン	TOEFL iBT 72点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
中国	清華大学 北京	中国語検定試験(HSK)5級以上
韓国	誠信女子大学 ソウル	韓国語能力試験(TOPIK) 中級程度 または ハングル能力検定試験4級程度
	梨花女子大学 ソウル	韓国語能力試験(TOPIK)中級以上 またはハングル能力検定試験3級以上 または TOEFL iBT 72点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上

※① 語学力の目安は2024年2月現在のものであり、協定校側から変更通知がある場合があります。

※② L=Listening, R=Reading, W=Writing, S=Speaking

※③ 学部により異なる場合があります。

※④ 私費による派遣のみとなります。

国名	大学名/所在地	語学力の目安 ※①、②、③
台湾	実践大学 台北	TOEFL iBT 69点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
	静宜大学 台中	中国語検定試験(HSK)3級以上 または 中国語検定試験3級以上
	国立高雄大学 <sup>※③</sup> 高雄	中国語検定試験(HSK)3級以上 または 中国語検定試験3級以上
ベトナム	フエ大学外国語大学 フエ	新規協定校のため未定。 募集時にお知らせします。
ラオス	ラオス国立大学 ビエンチャン	TOEFL iBT 57点以上 または 同等レベルの英語能力
タイ	タイ・アサンプション大学 サムットプラカーン	IELTS 6.5(Overall)以上
オーストラリア	ディーキン大学 <sup>※③</sup> メルボルン/ヴィクトリア州	TOEFL iBT 69点以上(W21以上) または IELTS 6.0(Overall)以上、 各6.0(L, R, W & S)以上
アメリカ	ウェストアラバマ大学 リビングストン/アラバマ州	TOEFL iBT 61点以上 または TOEFL PBT(ITP) 500点以上 または IELTS 6.0(Overall)以上、 各5.0(L, R, W & S)程度
	カリフォルニア大学デービス校 <sup>※④</sup> デービス/カリフォルニア州	TOEFL iBT 71点以上 または IELTS 6.0(Overall)以上
	ボーリンググリーン州立大学 ボーリンググリーン/オハイオ州	TOEFL iBT 71点以上 または IELTS 6.0(Overall)以上
	ミズウリ南部州立大学 ジョプリン/ミズウリ州	TOEFL iBT 50点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上、 各5.0(L, R, W & S)以上
カナダ	ノーザンプリティッシュコロンビア 大学 プリンスジョージ /プリティッシュコロンビア州	TOEFL iBT 90点以上 (各セクション20点以上) または IELTS 6.5(Overall)以上、 各6.0(L, R, W & S)以上
	レスブリッジ大学 レスブリッジ/アルバータ州	TOEFL iBT 70点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上、 各5.5(L, R, W & S)以上

## 2023年度 協定留學生 国籍別受入人数

国籍	国籍別総数
台湾	4
韓国	3
ドイツ	3
イタリア	2
エストニア	2
アメリカ	1
スロバキア	1
ポーランド	1
ラオス	1
合計	18

## 2023年度 協定留学 派遣人数

国	人数
イギリス	5
カナダ	2
韓国	2
チェコ	2
ポーランド	2
アメリカ	1
イタリア	1
エストニア	1
オーストラリア	1
台湾	1
合計	18

## 私費留學生 国籍別受入人数

2023年12月1日現在

国籍	国籍別総数
中国	22
韓国	9
ベトナム	1
マレーシア	1
合計	33

※除籍者、休学者除く

## 留学説明会について

留学に興味のある方は、  
留学説明会に  
出席してください。

春派遣は4月、秋派遣は9月に開催を予定  
しています。日時の詳細は、G-Portでお知  
らせします。

## イメージ表象研究部

ごきげんよう。イメージ表象研究部です。私たちはアニメや漫画、ゲームだけでなく映画や音楽、文芸など様々なジャンルを幅広く語り、また創作する部としてお昼または放課後にゆるく活動しています。10数名ほどの部員らが在籍していますが、皆様々なジャンルに精通しているため幅広い分野の交流を和やかな雰囲気で行っています。

毎年、部活では東京ビッグサイトで開催されるコミティアというイベントに夏または冬に参加し、部員が制作したイラストや漫画、小説という作品が詰まった部誌とメモ帳、ファイルなどのオリジナルグッズの頒布を行なっ



たオリジナルグッズの頒布を行なっ



ています。また、和祭では歴代の部誌の展示やオリジナルグッズの販売も行いました。このようなイベントの参加で得られた外部との交流や私たちの作品を手にとってもらえる喜びは、この部でしか味わえないものだと思います。貴重な体験を通じて、作品を受け取る側だけでなく作り手としての経験を得ることで世の創作物への理解がより深まっていると私達は確信しています。

イメージ表象研究部で活動することは「創作」が非常に魅力的に感じられる最初の一步だと考えます。世の中に創作物を溢れるものにするために、小さな一步として私たちの活動が貢献していれば嬉しく思います。

日本文学科 3年  
岡美 都稀

## 航空部

航空部は学習院大学との合同団体であり、グライダーを操縦して空で活動しています。パラグライダーや鳥人間と勘違いされがちですが、グライダーは航空法で規定された航空機の種類であるため、飛ぶためには国家資格(自家用操縦士)が必要でありこの点で大きく異なります。航空部はその資格取得を目指して活動し、取得までは資格を有した教官と同乗して練習を行います。

今年の夏は長野市滑空場にて遠征合宿を行い、アルプスを眺める贅沢なフライトをしました。また、普段利用している妻沼滑空場では赤城山や利根川を上空から眺めることができます。昨年度の11月には複座機がドイツから導入され、



ピカピカの新機体で操縦練習をしています。

空の世界は多くの方にとって未知の世界であるため、航空部に対しても様々なイメージを持っていただいています。新歓期間中よく聞かれる質問として「理系科目が苦手でも入部できるか」「高所恐怖症・絶叫アトラクションが苦手でも操縦できるか」などが挙げられます。実際は現役部員は文系が圧倒的に多く、高所恐怖症でもグライダーからの景色は平気な学生・教官がいます。また、グライダーはスポーツの中でも珍しい、性別・身体能力を問わない競技であり、限られた場所で多くの学生と交流します。上空からの景色を独り占めできることに加え、空の仲間を大学生活で作ることができるのは航空部の特権です。

今後も安全第一で運航できるよう活動に励みます。

国際コミュニケーション学科 3年  
柿澤 咲緒

## 書道部

私たち書道部は、主に毛筆を中心に、週に1回活動しています。年に3回ほどの作品展の他、和祭やオール学習院展などにも出品し、毎回新たな作品を展示しています。

作品は、書道の基本でもある楷書や行書、草書のほか、創作的な作品も制作します。楷書は力強く、行書は流麗に、草書は自由に、それぞれの書体の美しさを表現することを心がけています。

今年度の和祭では、新たに書道パフォーマンスにも挑戦しました。書道パフォーマンスとは、音楽に合わせて筆を運び、文字を書くパフォーマンスです。書道の美しさや



楽しさを、より多くの人に伝えたいという思いで、披露しました。

また、普段の活動のほか、書道の技術のさらなる向上のため、合宿を開催しています。今年度の夏合宿では、普段の練習ではできないような集中的な練習を行うことができたと同時に、部員同士の交流も深まり、充実した活動を行うことができました。

さらに、作品展などへの出品にも、部員一同精力的に取り組んでいます。今年度は、全国書道展に出品し、複数の部員が入賞を果たしました。

今後も、より多くの人に書道の魅力を伝えることを目標に、様々な活動に取り組みながら書道の技術を磨き、書道部を盛り上げていきたいと思っています。

日本文化学科 2年  
内納 有菜

ごきげんよう。雅祭実行委員会です。雅祭は、毎年4月に行われます。新入生歓迎会のことです。本学の委員会や部活動などの公認課外活動団体の紹介や新入生同士の交流の場となるような企画を運営しています。新入生の皆様は、本学で新たな学生生活を楽しく過ごすことのできるような、出会いの場を私たちは提供しております。

今年度の雅祭は、コロナ禍が開け、新たな形での開催となりました。課外活動団体によるステージ上でのパフォーマンスや相談会などの勧誘活動では、各団体と新入生の皆さんが直接交流できるような場所を提供し、多くの新入生が参加してくださいました。また、今年度は、近年

コロナ禍ということで開催が見送られていました。ウェルカムパーティを開催いたしました。ウェルカムパーティでは、新入生同士が集まり、楽しく会話をしながらビンゴゲームを行っていただきました。

コロナ禍があけ、新たな日常が始まりました。前例が少ない中での開催となりましたが、この雅祭が新入生の皆様にとって、大学生活の新たな一歩を踏み出すきっかけの場になっていただけました。なら、幸いです。

最後に、雅祭の開催にあたり、ご協力くださった教職員の皆様、各団体の皆さま、関係者の皆様に、この場をお借りいたします。厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



# 「和祭」を振り返って

やわらぎさい

令和5年度 大学祭実行委員長  
国際コミュニケーション学科 3年

徳留 早紀

ごきげんよう。今年度の和祭は入場制限なしのコロナ禍以前の形態で10月7日、8日に開催いたしました。今年度も受験生や、学習院女子大学の学生、そしてご家族など多くの方々にご来校いただき大変嬉しく思っております。

今年度の和祭は「煌(きらめき)kirameki」をテーマに委員一同、活動を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染症によって人との関わりも、活躍する場も奪われてしまいました。そこから解放された今、人生の中でも限られた時間である大学生活の中で、学女生一人一人の一瞬の輝きを大切にしたい、そして最大限に活躍が發揮されるような大学祭にしたい。そのような願いが今年度のテーマである「煌(きらめき)kirameki」には込められています。

昨年度は感染対策を十分にを行った上で、数年ぶりの対面開催が実現しました。今年度は感染対策による入場制限もなく開催できることとなったため、さらに進化した、学習院女子大学の魅力を最大限に発揮できる大学祭にしたいと強く思い、各部署長と何度も会議を重ねて本番を迎えました。今年度は昨年度よりも多くの方にご来場いただき、より活気あふれた大学祭となりました。例年、大人気である各団体によるステージ発表やゲストによるトークショー、ミスコンテストなどの実施に加え、クラスやゼミ・サークルの模擬店なども今年は昨年の数倍も出店し、大きな賑わいを見せていました。また、新企画として

学女生限定のデジタルスタンプラリーや実践女子大学とのコラボを企画し、新しいことにも挑戦できました。

今年度の実行委員は全員がオンライン開催、もしくは感染対策による入場制限などのある対面開催しか経験したことがなかったため、コロナ禍以前のよくな形態での開催は未知の世界で不安も多くなりました。しかし、「煌(きらめき)kirameki」のテーマにあるように参加する皆様の輝きを見たい、皆様に活躍の場を精一杯楽しんでほしい、その思いで実行委員一丸となって企画や準備を進め、無事に和祭を終えることが出来ました。実行委員全員で創り上げた和祭は、一生心に残り続ける最高の思い出です。学習院女子大学は数年後に学習院大学と統合する

ことが計画されています。そのため、計画通りに進めば学習院女子大学としての和祭は残り数回となりますが、その残り少ない「学習院女子大学和祭」に委員長として関わることができたこと、大変嬉しく思います。一緒に最後までやり遂げてくれた実行委員の皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

最後となりましたが、和祭の開催・運営にあたりご理解ご協力をいただきました。教職員の皆様、企業の皆様、卒業生の皆様、そして在学生の皆様へあらためて実行委員一同心より御礼申し上げます。



# 就職力

## キャリア支援スケジュール (2023.12.31時点)

開催月	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッションセミナー</li> <li>夏までに就活を終える！内定獲得に向けた就活セミナー</li> <li>初めてでも大丈夫！集団面接体験セミナー</li> <li>集団面接対策講座：本選者に向けて実践してみよう</li> <li>(2年生から知っておきたい)インターシップセミナー</li> <li>集団面接体験セミナー</li> <li>就活スタートアップ講座：就職活動について・夏季インターンシップについて知ろう</li> <li>公務員セミナー&lt;第1弾&gt;公務員試験概要&amp;学習方法</li> <li>集団面接練習会セミナー</li> <li>留学希望者向け就職ガイダンス：留学と就活を両立させるためには</li> <li>インターンシップ対策講座①業界研究編：業界・企業を知ろう</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全4回)就活ナビ講座</li> <li>集団面接練習会</li> <li>インターンシップ対策講座②自己分析編：自分を知ろう</li> <li>仕事理解講座(1)職種について知ろう：営業職・事務職・専門職etc. とは</li> <li>インターンシップ対策講座③ES対策編：ESの評価ポイントを知ろう</li> <li>公務員セミナー&lt;第2弾&gt;市役所で働くには</li> <li>仕事理解講座(2)採用区分について知ろう：総合職・準総合職・一般職etc. とは</li> <li>インターンシップ対策講座④筆記試験対策編：筆記試験対策のポイントを知ろう</li> <li>デザイン思考テスト対策講座</li> <li>&lt;24卒対象&gt;企業説明会</li> <li>客室乗務員集団面接練習会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全4回)就活ナビ講座</li> <li>(全5回)&lt;24卒対象&gt;企業説明会</li> <li>インターンシップ対策講座⑤面接対策編：個人・集団面接の評価ポイントを知ろう</li> <li>オンラインでもオフラインでも印象UPする！：就活メイク/髪型/身だしなみ/マナー講座</li> <li>グランドスタッフ集団面接練習会</li> <li>グループディスカッション講座：GDとは何かを知ろう</li> <li>公務員セミナー&lt;第3弾&gt;公務員の仕事の魅力</li> <li>グループ面接対策講座：グループ面接の評価ポイントを知ろう</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ間に合う！インターンシップ探し方講座</li> <li>これから始める就活！24卒内々定者報告会&amp;なんでも相談会</li> <li>公務員セミナー&lt;第4弾&gt;夏からはじめる公務員試験の学習方法</li> <li>&lt;低学年対象&gt;今から考える就活！24卒内々定者報告会&amp;なんでも相談会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>適性試験対策講座(非言語分野)ガイダンス</li> <li>後期スタートアップ講座：就活本番まであと半年、今やっておくべきこと</li> <li>マスコミ就活セミナー(新聞と出版)</li> <li>適性試験対策講座(非言語分野)ガイダンス</li> <li>教員採用試験傾向分析ガイダンス</li> <li>将来のキャリアビジョンについて考える：有名企業人事部長の視点から就職活動を控える学生へ</li> <li>隠れた優良中堅・中小企業の探し方講座</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全4回)就活ナビ講座</li> <li>マスコミ就活セミナー(広告と放送)</li> <li>大手企業社長から学ぶ欲しい人材とは：ココを見れば分かる！伸びる会社、伸びない会社</li> <li>内定者相談会(航空)</li> <li>OGOB/4年生による就活準備講座：面接対策セミナーガイダンス</li> <li>(全4回)業界研究ランチセミナー</li> <li>筆記試験対策講座：ポイントを抑えて確実な得点アップにつなげよう！</li> <li>自己分析x業界研究セミナー：自己分析から導く自分に最適な業界・企業を見つけよう！</li> <li>内定者相談会(金融)</li> <li>(全2回)面接対策セミナー提出書類作成講座</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全4回)就活ナビ講座</li> <li>公務員セミナー秋から始める公務員試験対策</li> <li>通過するES対策講座：採用担当者の視点から</li> <li>内定者相談会(公務員)</li> <li>(全2回)面接対策セミナー申込フォーム作成講座</li> <li>外国人留学生の日本における就活準備講座</li> <li>(全4回)業界研究ランチセミナー</li> <li>プロが教える就活メイクのHOW TO レッスン</li> <li>内定者相談会(商社物流)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全2回)キャリアゼミ(低学年対象)</li> <li>留学希望者対象就職活動ガイダンス</li> <li>(全2回)集団面接セミナー</li> <li>(全2回)グループディスカッション体験セミナー</li> <li>集団面接セミナー</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接対策セミナー</li> <li>集団面接セミナー</li> <li>グループディスカッション体験セミナー</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全3回)筆記試験対策講座</li> <li>就活直前対策講座</li> <li>(全4回)学内合同業界研究セミナー</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(全3回)女子大学合同企業説明会</li> </ul>

「グローバルで多様性に開かれた学びの空間へ」という理念のもと、近年、学生達は様々な業界へチャレンジし、内定を得ています。小規模校のため、各企業への就職者数は大規模総合大学と比較的少数ですが、実就職では高い就職率を打ち出しており、大いに健闘しています。

### キャリア支援部のサポート体制

キャリア支援部では、様々な相談に対し、キャリアカウンセラー有資格者が個別面談を実施しています。ES添削や面接練習では、対話の中で個々の経験や強みを引き出すことを大切にしており、1時間の面談で一人ひとりとじっくり向き合い、面談を繰り返すことで、より良い進路選択ができるよう、サポートしています。また、各学年向けプログラムや学生のニーズに応じたセミナーを随時企画・実施しています。マナー・メイク講座、公務員セミナー、筆記試験対策、グループディスカッション対策、またゼミ形式で行う高学年向け就活ナビ講座、低学年向けキャリアゼミ講座など、プログラム内容は多岐に渡ります。より多くの学生が参加しやすいよう、授業のない時間帯に実施することで、学業と就職活動の両立が図れるよう支援しています。なお、2023年度は年間約100回のセミナーを実施しました。小規模校ならではのきめ細かい支援として、ゼミ教員とも連携し、学校全体で学生を支援していることも、本学の特徴です。

## 速報!

充実したキャリアサポートにより、  
本学の学生は社会で高い評価を  
いただいています。

2023年  
著名400社  
実就職率

(卒業生数500人以下の大学)

1

全国  
女子大  
1位

2023年  
実就職率学部  
系統別編(国際系)

(卒業生数300人以上の学部)

1

全国  
女子大  
1位

\*全て大学通信調べ

\*著名400社は、日経平均株価指数の採用銘柄に加え、会社規模や知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に、大学通信が選定

### <令和5年度業界研究セミナー 主な参加企業>

日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、PwCビジネスアシュアランス合同会社、アクセンチュア株式会社、株式会社村田製作所、株式会社バレスホテル、東京海上日動火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社JAL スカイ、楽天カード株式会社、三井住友信託銀行株式会社、株式会社りそなホールディングス、株式会社国際協力銀行、日本生命保険相互会社、第一生命保険株式会社、株式会社住友倉庫、森・濱田松本法律事務所、日本郵便株式会社、長島・大野・常松法律事務所、株式会社ヤクルト本社、キユーピータマゴ株式会社、株式会社マイナビ、コナミグループ株式会社 等

# キャリア・就職支援

入学したその日から卒業後の将来を見据えて、一人ひとりを手厚くバックアップします。

## 「キャリア支援部の方々に相談したことで、自信を持って就職活動に臨めました」



京葉ガス株式会社  
英語コミュニケーション学科

萩原 日和

### 3年次 10月～2月

#### ランチセミナー・キャリア支援セミナー

セミナーでは、就職活動についてのノウハウ、企業説明会等、様々な情報を得る機会があります。オンラインで開催されていたこともあり、通学や授業終わりの時間で気軽に参加できました。企業説明会に参加することで、幅広い業界研究ができたと思います。

### 3年次 12月

#### 面接対策セミナー

学習院OB・OGの方々に、面接練習をしていただきました。初めての面接練習で緊張していましたが、改善点と共に良い点を挙げていただき、面接に対して前向きに捉えられるようになりました。また、同学年の学生と面接練習を受けることで、就職活動への意欲を高められました。

### 3年次 11月～4年次 5月

#### 個人面談

個人面談を通して、エントリーシートや面接に対して自信を持つことができました。最初は、エントリーシートの書き方すらわかりませんでした。しかし、キャリア支援部の方と自己分析や添削を行うことで、自分が納得するガクチカ・自己PR文を作成できました。また、私が苦手だった面接では、各企業の過去面接質問対策や対面での面接練習をしていただきました。親身になって相談に乗ってくださったお陰で、第一志望の内定をいただけたと強く感じています。

## 2022年度 就職状況

(2022年9月・2023年3月卒業生)

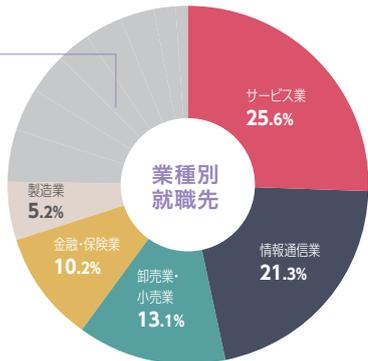
令和5年3月31日現在

卒業決定者	351人
就職希望者	308人
就職希望率	87.7%
就職内定者	305人
就職内定率	99.0%

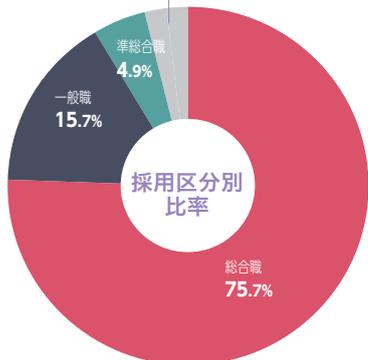
## 主な就職先

産業	企業名
サービス業	IDホールディングス、アデコ、ALSOK福島、NECマネジメントパートナー、オープンハウスグループ、オリックス・ファシリティーズ、キタムラ、JTB、JALナビア、証券保管振替機構、スイスポートジャパン、スタッフサービス、セコム、宝ホールディングス、地域医療振興協会、テイクアンドグヴィー・ニース、電通アドギア、電通キャストینگアンドエンタテインメント、電通デジタル、東京パワーテクノロジー、東宝芸能、西村あさひ法律事務所、日興ビジネスシステムズ、日本電機工業会、日本ゴルフツアー機構、パーソルキャリア、羽田エアポートエンタープライズ、PwC 京都監査法人、ファーストリテイリング、ペーカー&マッケンジー法律事務所、ベリベスト法律事務所、みずほビジネスサービス、三井住友トラスト・ビジネスサービス、三井倉庫ホールディングス、明治産、明治安田ビジネスプラス、メンバーズ、USEN-NEXT HOLDINGS、ラウンドワン
情報通信業	伊藤忠テクノソリューションズ、VMware、ウィットスタジオ、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、NTTデータ・エム・シー・エス、NTTデータ・ビジネス・システムズ、エフアンドエム、MS&ADシステムズ、MS&AD事務サービス、かんぽシステムソリューションズ、キリンビジネスシステム、クオキャリア、クラリシオン、クローク・アンド・リパー社、JALインフォテック、セラク、ソニーネットワークコミュニケーションズ、ディップ、DYM、東京海上日動システムズ、東邦システムサイエンス、ドコモ・サポート、トランス・コスモス、日商エレクトロニクス、日本アイ・ピー・エムデジタルサービス、日本タタ・コンサルティング・サービス、パーソルプロセス&テクノロジー、日立ハイシステム21、富士ソフト、富士通コミュニケーションサービス、富士フィルムシステムサービス、マイナビ、丸紅ネットワークソリューションズ、三井住友トラスト・システム&サービス、ヤフー
卸売業・小売業	ENEOSTレーディング、オートボックスセブン、折兼、きくや美粧堂、クオール、コモタ、埼玉スバル、三菱オブリ、JR東日本商事、ジンスホールディングス、ゾフ、TASAKI、東京コールドチェーン、ニトリ、プリモ・ジャパン、フルラジャパン、三井物産、三井物産ケミカル、三井物産スクール、三菱商事ケミカル、三菱商事パッケージング、ミツウ電機、良品計画、和光
金融・保険業	朝日生命保険、SMBC日興証券、国際協力銀行、芝信用金庫、清水銀行、巢鴨信用金庫、セゾン自動車火災保険、ソニー損害保険、第一生命保険、太陽生命保険、千葉銀行、中央労働金庫、東京海上日動火災保険、東京シティ信用金庫、日本生命保険、日本マスタートラスト信託銀行、富国生命保険、みずほフィナンシャルグループ、三井住友信託銀行、武蔵野銀行、ユーシーカード、楽天カード、楽天銀行
製造業	伊藤ハム、インバム、栗太樓練本舗、ケイジェイシー、ケイバック、ジャムコ、ナリス化粧品、日本フルーフ、HARIO、パンダイ、マリノフード、村田製作所、ヤマトドレス、ユーシーシー上島珈琲
運輸業・郵便業	伊藤忠ロジスティクス、インターナショナル・カーゴ・サービス、ANAエアポートサービス、ANA沖縄空港、SBSグローバルネットワーク、国際航業、JALスカイ、住友倉庫、ソラシドエア、大東港運、日新、日本トランスシティ、羽田空港サービス、三井倉庫ロジスティクス
教育・学習支援業	学習院、神奈川県教育委員会、国際医療福祉大学、さいたま市教育委員会、自治医科大学、城西川越学園、成学社、東京歯科大学、東京農業大学、東京理科大学、日本体育大学桜華中学校・高等学校、矢野学園
公務	加須市役所、群馬県市町村、経済産業省、厚生労働省、さいたま市人事委員会、千葉市役所、東京23特別区人事委員会、蓮田市役所、富士市役所、町田市役所、横須賀市役所
不動産業・物品賃貸業	オークラヤ住宅、オリックス、ケイアイスター不動産、スターツファシリティサービス、東急コミュニティー、東銀リース、ハウスメイトパートナーズ、三井不動産リアルティ
宿泊業・飲食サービス業	JR東日本サービスクリエーション、西武、プリンスホテルズワールドワイド、東急ホテルズ、パレスホテル、ホテルオークラ東京、ホテル小田急、森ビルホスピタリティコーポレーション、ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
医療・福祉	神奈川県国民健康保険団体連合会、湘美会、スターツケアサービス、全国土木建築国民健康保険組合、SOMPOケア、ベネッセスタイルケア
建設業	熊谷組、住友林業、東京電工、三井住友建設
複合サービス業	生活協同組合連合会大学生協事業連合、高崎市農業協同組合、横浜農業協同組合

- 運輸業・郵便業 4.6%
- 教育・学習支援業 3.9%
- 公務 3.6%
- 不動産業・物品賃貸業 3.3%
- 宿泊業・飲食サービス業 3.3%
- 医療・福祉 2.9%
- 建設業 2.0%
- 複合サービス業 1.0%



- 専門職 2.0%
- 契約 1.7%





内定

全日本空輸株式会社

日本文化学科

松本 優奈

私は、「自分の軸をしっかり持ち、ありのままにいること」を就職活動で大切にしてきました。そのためにはまず自分を深く知り、将来の理想像をイメージすることから始めました。留学から帰国してすぐに就職活動を始めたため、バタバタと始まった就職活動でしたが、留学中に自己分析が出来ていたことが自分自身を助けてくれました。

面接では、面接官の方との会話を心から楽しみ、ありのままの自分でいるように努めました。面接の回答に正解はないため、自分の軸をぶれずに話すことでどんな状況でも必ず自分の経験や大切にしたい思い、信念は伝わると思います。

今後もありのままの自分を大切に、自分の心がわくわくするものへと挑戦し成長し続けることで、どんな時でも朗らかにお客様に寄り添える客室乗務員を目指して参ります。

そしてこれから就職活動に臨む皆様、就職活動は思い通りにいかず、時に挫けそうになることもあると思います。その時は是非周りの方を頼ってみてください。自分の不安を家族や友人と共有するだけでも心がスッキリし新鮮な気持ちでまた頑張れると思います。そして感謝の気持ちを忘れずに、最後まで頑張ってください。皆様の就職活動を心から応援しています。

社会的弱者をも含めて多くの人が生きやすい社会の構築に携わりたいという思いから公務員を目指しました。その中でも厚生労働省を就職先を選んだ理由は医療、衛生、福祉、年金など幅広い課題に携わり、人の生きる基盤を構築しているという点に魅力を感じたからです。また国家で働くという点で大きな仕事出来る事、私の地元である地方にも支援を届けることが出来る事にも魅力を感じました。

私は大学2年生の12月から勉強を始め、厚生労働省の他にも東京都庁、国税専門官、裁判所事務官一般職から最終合格を頂くことが出来ました。このように合格を頂け

た要因は早い時期からコツコツと努力を重ねていたからだだと思います。筆記対策は捨て科目を作らず予備校の問題集や過去問研究を徹底的にやりこみました。面接対策は大学のキャリア支援部の方や予備校の友人や先生、仕事センターなどで模擬面接を行い、場数をこなしました。

4月からは行政官として、支援を届ける先にいる国民の皆様が何を求めているのかを的確に把握し、その課題に対する施策の実施や運営等に携わることのできる職員になりたいと強く思います。



内定

厚生労働省

国際コミュニケーション学科

大川 紗英



内定

一般社団法人日本経済団体連合会

国際コミュニケーション学科

町田 佳穂

私の就職活動は決してスムーズなものではありませんでした。本選考では約50社受験しました。可能性を狭めないようにするために様々な業界を受験しました。本選考が始まった当初は上手くいかず、不安で眠れない日もありました。しかし、何度も面接を重ねるごとに、面接のコツが掴めるようになり経団連からの内定を頂いた時には、多くの企業の選考が進んでいる状態でした。面接を何度も行うことで徐々にコツが掴めるようになったので、沢山面接を重ねることをお勧めします。

キャリア支援部の皆様には大変お世話になりました。

就職活動を始めた時から、少なくとも2週間に1回はES添削や面接練習を行なってもらいました。ESを添削してもらうことで、私自身では気付かなかった自分の良さを気付かせて頂きました。経団連の最終面接が控える3日前に予約なしにも関わらず、一緒にホームページを見ながら何度も志望動機の相談に乗っていただきました。そしてその後、経団連の内定を頂いたことを報告すると職員の方も心から喜んでいただきました。このように、私はキャリア支援部の方々の温かいご支援とご指導があり内定を頂くことが出来ました。

私は、就職活動の軸を「人をサポートする」「英語を使う」として進めてきましたが、最初から内定先の秘書を目指していたわけではなく、業界や職種の選択には迷いがありました。そのような中、先輩に勧めていただいたキャリア支援部の方との面談が大いに助けになりました。面談では担当の方が私の希望やスキルに真摯に耳を傾け、それに基づいて私に適した職種や企業と一緒に考えてくださいました。その結果、秘書職が自身の軸とマッチし、自分の働く姿を想像できたことから、秘書職に強い興味を抱き志望先を確定することができました。

就職活動中は、焦りや不安がつきまといましたが、大学で

定期的開催される就活セミナーに参加することで少しずつその不安を解消していくことができました。また、就職活動は一人で進める時間が多いため、時折孤独感に襲われることもありましたが、友人たちとの会話や励ましは、私にとって心の支えとなっていました。今後就職活動をされる皆様も、周囲の方に相談して、一人で抱え込まずに就職活動を進めていただけたらと思います。陰ながら応援しております。

卒業後は、これまで支えてくださった周囲の方々に感謝を忘れず、今度は秘書として職場の方々や周囲の人をサポートしていきよう頑張ります。



内定

森・濱田松本法律事務所

英語コミュニケーション学科

笠原 茉央

# 学習院父母会の 近況報告

## 学習院女子大学 父母会会員の皆様へ

学習院父母会長 神山 直己

「ご父母の皆様におかれましては、当会の運営につきまして日頃よりご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

学習院父母会は、学習院全体の経営、教育に参画し支援する組織であり、その目的に従ってさまざまな活動をしております。これは他の学校法人には見られない特徴ということができます。当会は、園児、児童、生徒、学生が学習院において充実した学校生活を送れるよう、多岐にわたって支援することを第一の役割であると考えております。それは、学習院で学ぶ子どもたちが社会人となり、明日の日本、そして世界の一翼を担う人材として成長することを願っているからです。

当会は、皆様から頂戴する年会費で運営されております。皆様とともに、お子さまの「成長」ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### ● 父母会の主要事業

#### (1) 父母会奨学金制度 (平成13年度創設)

学習院に在学する学生、生徒等で父母保証人の死亡などによって、家計が激変し、学費の支弁が困難になったと認められる勉学熱心な方に対し、選考のうえ、年15名以内、年額授業料・維持費(高等科以下の名称)・施設設備費(大学及び女子大学の名称)相当額を、学習院在学中1年度に限り給付するものです。令和5年度は1名の学生

#### (2) 父母会課外活動等助成金制度 (平成13年度創設)

現代は単に学問だけでなく、スポーツ・文化などを含めた広く大きな「人格形成」が教育の場求められるています。そこで当会では、大学、女子大学、男女中・高等科及び初等科の運動部・文化部等の課外活動に対し、積極的に助成をしております。

・各部・各クラブの備品用具等へ助成する一般助成金は、令和5年度は各学校合計57件でした。  
・父母会課外活動等優秀賞・奨励賞受賞は、令和4年度は各学校合わせて、優秀賞が団体8件、個人26件、奨励賞が団体2件、個人26件でした。

### ● 父母会の近況報告

#### (1) コロナ禍における父母会運営

令和元年12月以降世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症によって、当会の活動も大きな影響を受けました。対面による会議は開催中止とし、主務・常任幹事会や定例総会についても書面やWEBによって審議を行いました。各学校にはこれらに対応すべく、アルコールドレスベンサーの設置費用の助成や各科父母会室へのWiFi機器設置の助成等を行いました。

#### (2) 地方における「地震災害」による被災者父母保証人へのお見舞い等

平成16年の新潟県中越地震以降、各地で起きた地震災害では、それぞれ、お見舞金を贈呈しました。

また、平成23年の東日本大震災では、甚大な被害に対する「学習院東日本大震災義援金」に100万円を募金するとともに、罹災した学生に対して生活支援金を支給しました。

さらに、近年多発している大規模自然災害に対して、「父母会からの贈呈金に関する内規」を改正し、柔軟に対応できるようにしております。

#### (3) 「オール学習院の集い」への協力

恒例の「オール学習院の集い」に対して、学校法人へ寄付をすると共に、常任幹事の方々には当日の運営にご協力いただき、「共催」の役目を務めております。

#### (4) 大型物件の寄贈及び寄付 (平成22年以降)

・女子中・高等科テニス・バレーコート人工芝化改修工事への寄付(平成22年)  
・校外施設(沼津游泳場・妙高高原)地デジ対応テレビ等買い替えへの寄付(平成22年)  
・幼稚園(ステンレス製オリジナル2連登り棒)を寄贈(平成23年)  
・各学校(大学・幼稚園)へ災害時整備計画に基づく備蓄品等を寄贈(平成24年)  
・(女子)大学用備蓄品として、アルファ米2,100食及びサバイバルパン2,016缶を寄贈  
・大学西5号館1階「学生ホール」内設置の椅子188席を寄贈(平成26年)  
・輔仁会館前噴水広場用屋外チェア16脚を寄贈(平成27年)  
・初等科図画室内設置の机9台、材料台4台、及び椅子36脚を寄贈(平成29年)  
・女子中・高等科総合体育館の緞帳一式を寄贈(平成29年)  
・中・高等科第2テニスコート人工芝化(オムニコート)工事への寄付(平成29年)  
・各学校(大学、中・高等科、女子中・高等科、初等科)のAED新規設置への寄付(平成30年)  
・女子大学テニスコート(人工芝)新設・整備への寄付(平成30年)  
・幼稚園電動「ひさし」設置工事費用の一部助成(平成30年)

・沼津 伝馬船(木造和船)一艘を寄贈(令和元年)  
・中等科・高等科第2体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和元年)  
・百周年記念会館設置の演奏用椅子購入費用の一部助成(令和2年)  
・初等科「図画室」工作台天花板カバーほか寄贈(令和2年)  
・女子大学のAED新規設置への寄付(令和2年)  
・中等科・高等科第1体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和2年)  
・大学体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和2年)  
・大学(テント)張り寄贈(令和3年)  
・各学校のアルコール消毒液を寄贈(令和3年)  
・女子中・高等科第2体育館空調設備工事の一部助成(令和3年)  
・初等科校庭屋外ベンチを寄贈(令和4年)  
・大学国際センター学生ラウンジ用テーブル・椅子を寄贈(令和5年)  
・女子中・高等科中庭用屋外ベンチ、本館3階ルーフトラス用テーブル椅子を寄贈(令和5年)  
・MOS(マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト)資格受験料の一部助成(平成28年・継続中)

### おわりに

以上のように、学習院父母会は直接あるいは間接的に、学習院の経営、教育に参画し支援を行っている組織です。皆様と共に、これからも学習院を支え、より良い学校にする努力を続けて参りたいと存じます。

父母会本部事務局は目白キャンパスの学習院創立百周年記念会館2階にごさいます。

(ご用の節は)遠慮なく、ご連絡下さい。

開室時間 月々金 9時~17時  
TEL&FAX: 03-3988-3226

国際コミュニケーション学科 教授

## 熊谷 英憲

くまがいひでのり



### 略歴

1999年3月に東京大学大学院より博士(理学)の授与。2000年より認可法人海洋科学技術センターの研究員として、その独法化した国立研究開発法人海洋研究開発機構にて海底火山の有人調査や海底資源の科学掘削調査をはじめとする深海環境地質の調査を行い、2023年4月より現職。研究手法としては、同位体解析と環境放射線計測を主に扱い、調査船上では多国籍の調査チームを取りまとめたこと。日本火山学会の火山防災委員会委員、海洋研究開発機構の放射線安全委員会委員長を務める。地学オリンピックの国内委員会委員。

### 私の研究

私の専門をもっとも端的に表現すると「海底火山の環境学」になります。自然科学と社会科学の双方に立脚した広い環境学のなかで、自然科学の側から海底火山という非日常を対象にしてみました。理学部の地球物理学科で学んだため、考え方の基本が地球科学の思考法になります。最も長い付き合いの道具は質量分析という装置で、

データ解析に地球化学の方法を使いますので、「物理の道具で化学の測定をして地学の研究をしている」と表現してきました。大学院では兼岡一郎先生に師事することができ、基礎については脇田宏先生、野津憲治先生、駆け出しの時期には福岡孝昭先生のご指導も受けました。脇田先生、福岡先生は学習院大学大学院で博士号をお受けになられたというご縁もあります。

これまでは、理学研究の現場におりましたので、自然現象そのものの観察や観測を通じて、人類が初めて手にするデータとして表現することを積み重ねてきました。未踏の深海は訪れることそのものが挑戦ですし、調査航海には大変な費用がかかり、多数のスタッフが必要ですので、効率の面でも学際的な研究組織で実施することが必要です。そこで、生態学をはじめとする多様な専門の研究者に声をかけ、遠洋の調査も実施してきました。幸いにも深海潜水調査船で5回の海底調査を経験することができましたので、体験した現場の感覚を共有することに大きな喜びを感じてきました。2010年代には日本近海の海底鉱物資源調査に専ら参加していましたが、以前はインド洋や南東太平洋などの遠洋調査の起点として島国、港町を訪れたことも多くあります。現在は、20年来の雑多な研究テーマを統合しようとして「地球環境のシステム論」を模索しているところです。現代を独立の地質時代である「人新世」として定義しようとする動きに象徴されるように、人類活動の影響が地球環境に大きく現れている中、人間中心の視点を離れた地球環境認識の重要性が一層高まっていると考えるからです。ミクロからマクロ、グローバルからローカル、天の果てから地の底まで、我々を取り囲む環境の様々な側面と一緒に体験、探求しましょう。

国際コミュニケーション学科 教授

## 丸山 信人

まるやまのぶひと



### 略歴

青山学院大学総合文化政策学研究所科修了。大手出版社で、経済誌・法律誌の編集長や人事部門の管理職等に従事、経済政策情報研究所主任研究員兼務。米国シリコンバレー日本人の執行役員を経て、ベンチャー企業を起業・取締役に従事、三菱地所シニアパートナー等兼務。その後、東証一部上場メディアグループ会社の執行役員及びインターネットメディア研究所主幹研究員等に従事、日本雑誌協会デジタル流通委員会委員長、デジタルメディア協会理事、文部科学省・総務省・経済産業省のデジタルコンテンツ関係の17の委員会委員等兼務。昭和女子大学人間社会学部准教授を経て、2023年4月から現職。著書に「eスポーツ産業論」、「地方創生ディレクター」、「事業化プロデューサー養成講座」、「教育ICTガイドブック」等。

### 私の研究

私の研究分野は、社会情報学です。Society 5.0と呼ばれる現代社会では、コミュニケーション活動はこれまで以上に重要性を増しています。その新領域として

「コミュニケーションデザイン」があります。これは「人と人とのあいだのコミュニケーション」をデザインすることです。このデザインは、グラフィックのデザインではなく、企画(プランニング)に近い概念で、その代表である「広告」と「PR」が、私の研究分野です。皆さまの身近にある広告やPRの多くは、メディア・コンテンツによって表現され、それらを通じて、世界中でコミュニケーションがおこなわれています。この「メディア・コンテンツ」も私の研究分野です。民間企業で、メディア・コンテンツを創り、広告・PRをプロデュースしてきた経験を踏まえ、これらを理論と実践の両方のアプローチから研究をしています。

メディア・コンテンツとは、日本のコンテンツ促進法で定義している、映画・音楽・演劇・文芸・写真・漫画・アニメーション・コンピュータゲーム、その他人間の創造的活動により生み出される教養又は娯楽の範囲に属するものです。国家間、文化間のコミュニケーションでは、コンテンツはますます必要性を増しています。また、そのコンテンツによる地域創造の一つである「コンテンツツーリズム(聖地巡礼等)」についても研究をしています。

さらに、今後のデジタル社会において必要不可欠となります。データサイエンス・AIについて、特に「コミュニケーションAI」の研究をしています。近年、急激な変化を遂げている「生成AI」は、まさに、コンテンツを生産するAIとなります。また、AIを利活用したコミュニケーションロボットの研究もしています。

「コミュニケーションデザイン」から「メディア・コンテンツ」、そして、最新の「データサイエンス・AI」まで、さまざまな未来に向けた探索的研究を、学生の皆さまとしていきたいと願っております。



## 専任教員紹介

### 日本文学学科

伊藤 守幸	教授	平安文学研究、比較日本文学研究
今橋 理子	教授	日本美術史(江戸絵画史)、比較日本文化論
岩淵 令治	教授	日本近世史(江戸時代)、日本都市史
内野 儀	教授	表象文化論、舞台芸術(演劇・舞踊)論
宇都宮 由佳	教授	食文化、生活文化
木村 直恵	教授	日本近代史、文化史
工藤 雄一郎	准教授	先史学、植物考古学、環境考古学、年代学、漆文化史
越塚 美加	教授	図書館情報学
佐藤 琢三	教授	日本語学(現代語の意味論・文法論)
澤田 匡人	教授	感情心理学
品川 明	教授	フードコンシャスネス教育、環境教育、食品科学、生態学、コミュニケーション
清水 将吾	准教授	情報科学、データ科学
清水 敏男	教授	現代美術史、アートマネジメント(博物館学)
土屋 有里子	教授	日本中世文学、説話文学、キリシタン文学
時安 邦治	教授	社会学・社会思想
橋本 彩	准教授	スポーツ人類学、文化人類学
福島 直恭	教授	日本語学、日本語史
福島 雅子	准教授	日本服飾史、染織史

### 国際コミュニケーション学科

石澤 靖治	教授	国際コミュニケーション論、米国政治
伊藤 由紀子	教授	国際協力、NPO、NGO
ウーゴ・ミズコ	教授	建築学、歴史的建造物の保存修復史
江藤 正己	准教授	図書館・情報学(情報検索、情報システムなど)
大桃 敏行	教授	教育行政学、教育制度論
北川 香子	教授	東南アジア史・地域研究
金城 亜紀	教授	経営学、経営史
熊谷 英憲	教授	環境科学(地球環境学〈海底環境、海底火山、海底資源、環境放射線〉)
金野 純	教授	社会史、歴史社会学、東アジア地域研究(主に現代中国)
佐久間 みかよ	教授	アメリカ文学・文化
櫻井 大三	教授	国際法
櫻井 宏明	准教授	国際経済、日本経済、アジア経済
澤田 知香子	教授	英語圏文学(イギリス小説)・文化、ポストモダニズム理論
武井 彩佳	教授	ドイツ現代史、ホロコースト研究、エスニシティ研究
中島 崇文	教授	中・東欧の歴史、政治、宗教、社会、文化、民族問題
畠山 圭一	教授	国際政治、アメリカ政治外交、日米関係
古庄 信	教授	英語学(歴史統語論、特にシェイクスピアと聖書の語法)、イギリス文化
正本 忍	教授	フランス近世史、社会史、法制史
丸山 信人	教授	コミュニケーションデザイン、メディア・コンテンツ、社会情報学
羅 京洙	教授	国際関係論、国際移動論、東アジア地域研究、現代コリア研究

### 英語コミュニケーション学科

ウィン・グン	教授	ビジネス英語
萱 忠義	教授	応用言語学、英語教育、早期英語教育、英語教育へのICT活用
ギュンター・ディルク	教授	英米文学
クレイ・サイモン	教授	翻訳研究、英語教育
高橋 礼子	准教授	応用言語学、World Englishes、English as a Lingua Franca
田島 千裕	准教授	教育学、異文化コミュニケーション、混合研究法、英語教授法、留学研究

## 専任教員著書紹介

2022年12月～2023年11月

※原則として単行書を取り上げ、著作形態および紹介文は教員の報告に拠っています。



金城 亜紀 教授

『「学ぶこと」と「思うこと」』

共編著

出版社名/信山社

出版・発行年月/2022.12

内容/外交官、国際法学者、国際裁判官として著名な小和田恆氏は、激務を縫って東京大学教養学部教養学科で約30年の長きにわたり教鞭をとられた。本書は、同氏の知られざる教育者としての側面を、各界で活躍する教え子によるエッセーとインタビューで浮き彫りにする。



北川 香子 教授

『アジア人物史1  
神話世界と古代帝国』

アジア人物史

執筆

出版社名/集英社

出版・発行年月/2023.1

内容/「東南アジア神話」を執筆担当し、カンボジア王朝年代記に現れる建国神話、民間の口承伝承およびそれにつながる市中のモニュメントを紹介・解説した。



佐久間 みかよ 教授

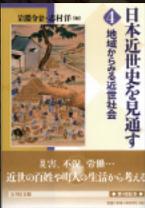
『改革が作ったアメリカ  
— 初期アメリカ研究の展開』

編著

出版社名/小島遊書房

出版・発行年月/2023.3

内容/植民地時代、独立革命期、19世紀に至るアメリカの姿を文学、歴史、宗教の観点で捉える14の論文と9つのキーワード解説からなる論集。分野横断的なアプローチで、最新の研究動向を反映した初期アメリカ研究書。



岩淵 令治 教授

『地域からみる近世社会』

『日本近世史を見通す』4巻

共編著

出版社名/吉川弘文館

出版・発行年月/2023.11

内容/日本近世史研究の最新の動向を示したシリーズのうちの1冊。村と都市の地域社会を検討した巻で、とくに都市について企画・構成を立案するとともに、多様な人々が住み、交錯する江戸の町について1章分を執筆した。

## 令和5年度 客員研究員受入一覧

	氏名	所属	受入部署	研究テーマ	共同研究者	受入開始	受入終了
1	阿曾村 智子	本学非常勤講師	国際学研究所	平和構築における文化的要素の課題と展望	畠山 圭一 中島 崇文	令和5年 4月1日	令和6年 3月31日
2	四方 八重戸	本学国際学研究所 客員研究員	国際学研究所	With/Post COVID-19 社会における ジェンダー平等の実現をめぐる国際動向 — 各国の課題と取り組みを中心に —	畠山 圭一	令和5年 4月1日	令和6年 3月31日
3	門間 卓也	関西学院大学文学部 研究員	国際学研究所	社会主義ユーゴスラヴィアにおける ジェンダー政治	中島 崇文	令和5年 4月1日	令和6年 3月31日
4	ネグリ, カローリーナ	カ・フォスカリ大学 准教授	国際学研究所	イタリアにおける日本文学研究をテーマと する講演の実施	伊藤 守幸	令和5年 11月8日	令和5年 11月29日

## 「コロナ禍」を経て

5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ変更し、図書館では通常通りの運用へ戻しました。対面授業が再開し、学生の利用も活発化しています。

今回は現時点(2023年12月)の図書館サービスの状況などについてご紹介します。

# 図書館から の お知らせ



### ■ サービス状況

コロナ禍が明けてからは、感染症対策のために行っていた椅子の間引き、館内滞在者数の制限を中止すると共に、卒業生、学習院大学生などの戸山キャンパス所属者以外の来館利用を再開しコロナ禍以前と同様の利用条件となりました。

また、館内の飲食スペース「リフレッシュルーム」も再開し、昼休みを中心に館内で過ごす学生が飲食する姿も多く見受けられます。リフレッシュルーム内にある自動販売機では、学生からのリクエストに応え、今冬から温かい缶入りスープも販売しています。

その他、昨年度から設置した「個人ブース」も発話形式のオンライン学習の他、就職活動のオンライン面談、自習等に利用され、開講期の平日午後は満室の日が続いています。図書館では、引き続き利用者が館内を快適に利用するための環境整備に努めてまいります。

### ■ 閲覧席にコンセントを設置しました

コロナ禍を機に、自分のノートパソコンを持参する学生が非常に増えています。その関係で、閲覧席へのコンセント設置の要望が多く入っておりました。今年度初めに館内全ての閲覧席にコンセントを設置しました。



閲覧席



電源コンセント

### ■ ブック・セレクターの再開

コロナ禍で中止していた「ブック・セレクター」(学生選書委員)の募集を昨年度の秋学期に再開しました。今年度はコロナ禍以前同様に、春学期と秋学期に各1回ずつ、計2回募集しました。どちらの回も応募状況は好調で、募集開始日から1週間ほどで定員に達しました。ブック・セレクターの学生は5月中旬及び10月中旬に都内大型書店へ直接行き、他の学生に読んで欲しいと思う資料を選書してきました。その中から、小説、エッセイ、食文化関係、資格対策本などをはじめ、約300冊近くの図書を購入しました。ブック・セレクターが選書した資料はおススメ本に手作りのPOPを付けて、図書館2階の特設エリアに並べています。既に貸出もされており、利用状況も非常に良好です。



ブック・セレクター



学生選書資料



学生選書資料

学習院女子大学 学生数 一覧

学科	日本文化学科	国際コミュニケーション学科	英語コミュニケーション学科	合計	大学院修士課程
1年	173	215	24	412	2
2年	149	175	27	351	3
3年	151	181	36	368	-
4年	167	215	55	437	-
合計	640	786	142	1,568	5

(令和5年12月1日現在)

令和6年度 女子大学奨学金一覧表

※特記がない場合は学部・大学院共に対象。各奨学金の詳細は学生部窓口にお問い合わせください。

制度名	金額(円)	募集時期	貸・給別	備考		
安倍能成記念教育基金奨学金	450,000	募集しない・推薦制	給付	採用1ヶ年 2年生以上対象		
学習院女子大学学業優秀者給付奨学金	学部学生 150,000 大学院生 300,000	募集しない・推薦制	給付	採用1ヶ年 2年生以上対象		
学習院女子大学大学院研究奨励金	大学院生 35,000	4月上旬	給付	在学期間合計2回限り		
学習院女子大学学費支援給付奨学金	学部学生 第2期授業料相当額	9月中旬	給付	採用1ヶ年		
学習院女子大学教育ローン金利助成奨学金	在学中利子分給付(年50,000を上限)	11月上旬	給付	採用1ヶ年 毎年申請		
学習院女子大学海外留学奨学金	500,000以内	G-Port	給付			
学習院女子大学海外留学奨学金 (交換によらない難関協定校への留学)	600,000以内	G-Port・掲示による	給付			
学習院女子大学海外短期語学研修奨学金	100,000以内	G-Port・掲示による	給付			
学習院女子大学海外ボランティア活動奨励金	100,000以内	G-Port・掲示による	給付			
学習院女子大学協定留学生奨学金	500,000以内	対象者へ個別通知	給付	協定留学生対象		
学習院女子大学外国人留学生奨学金及び奨励金	奨学金 200,000	G-Port・掲示による	給付	毎年申請		
	奨励金 300,000	募集しない・推薦制				
学習院父母会奨学金	学部学生(家計急変者に限る) 授業料・施設設備費相当額	11月中旬	給付	採用1ヶ年在学中1回限り		
日本学生支援機構	学部学生	第1種(無利子)	自宅 月額54,000上限 自宅外 月額64,000上限	4月上旬	貸与	卒業月まで貸与
		第2種(有利子)	月額120,000上限			
	大学院生	第1種(無利子)	月額50,000または88,000	4月上旬	貸与	修了月まで貸与
		第2種(有利子)	希望により貸与月額5万、8万、10万、13万、15万のいずれかを選択			
高等教育の 修学支援新制度 (学部生のみ)	授業料減免	年額700,000を上限として減免	4月上旬	給付(減免)	継続審査あり	
	日本学生支援機構 給付型奨学金	自宅 月額42,500上限 自宅外 月額75,800上限	4月上旬	給付	継続審査あり	
日本学生支援機構 外国人留学生学習奨励費	月48,000	募集しない・推薦制(※原則)	給付	採用1ヶ年 追加推薦あり		
その他公私機関による奨学金制度	その都度G-Port及び掲示参照					

学習院女子大学入学前予約型給付奨学金  
「やわらぎ奨学金」のお知らせです

一般選抜(A・B方式)で本学に入学を希望する方を対象にした、予約型の給付奨学金です。

日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外)の高等学校等を卒業した方及び受験年度に卒業見込みの方から、本学学部一般選抜出願時期に合わせて申請を受け付け、採用候補者を決定し、本学学部一般選抜を受験・合格し、本学に入学後、所定の手続きを行うことで正式に採用されます。

給付金額	100万円
給付期間	入学年度に限り給付(入学後、2回に分けて給付予定)
採用候補者数	20名

詳細は学生部までお問い合わせください。

## 令和6年度 学年暦

4月	春季休業	1(月)～7(日)	9月	追試験	4(水)、5(木)		
	新入生ガイダンス	1(月)～6(土)		9月	秋学期ガイダンス	18(水)～20(金)	
	健康診断	1(月)、2(火)		9月	秋学期授業開始	26(木)	
	入学式	4(木)		10月	和祭準備(休講)	11(金)	
	雅祭	6(土)			10月	和祭(休講)	12(土)、13(日)
	春学期授業開始	8(月)			10月	和祭片付け(休講)	14(月)
5月	臨時休講	30(火)	11月	開院記念日(休講)	17(木)		
	臨時休講	1(水)、2(木)	11月	休日開講日	4(月)		
6月	開学記念日(休講)	15(水)	12月	冬季休業	24(火)～1/8(水)		
	休日開講日	15(月)	1月	授業開始	9(木)		
7月	補講期間	16(火)、18(木)		1月	補講期間	16(木)、17(金)	
	春学期末試験	19(金)～25(木)		1月	秋学期末試験	21(火)～27(月)	
	春学期試験予備日	26(金)		1月	秋学期試験予備日	28(火)	
	夏季休業	26(金)～9/25(水)		1月	春季休業	28(火)～3/31(月)	
8月			2月	秋学期追試験	13(木)、14(金)		
			3月	卒業式	19(水)		
		3月		在学生ガイダンス	21(金)、24(月)～26(水)		

## 令和6(2024)年度 105分授業の導入について

令和6(2024)年度より授業時間は、現行の90分から105分に変更となります。

105分授業(各学期13週)の導入により、アクティブラーニングの導入や地域連携活動・実習体験学習など本学の多様な学びの推進、夏季休業等の留学や海外研修などの時間をさらに確保することが可能となります。

令和6(2024)年度の授業週数変更に伴い、授業時間割を下記のとおり変更いたします。

時限	90分(現行)	105分(変更後)
第1時限	9時00分～10時30分	8時45分～10時30分
第2時限	10時40分～12時10分	10時40分～12時25分
昼休み	12時10分～13時00分(50分)	12時25分～13時15分(50分)
第3時限	13時00分～14時30分	13時15分～15時00分
第4時限	14時40分～16時10分	15時10分～16時55分
第5時限	16時20分～17時50分	17時05分～18時50分

# 保健室のごあんない

保健室は、学生の皆さんが心身ともに健康な学生生活を送れるように支援しています。

春の定期健康診断を通して病気の予防や早期発見に努めています。

日常業務としては、学校医や看護師による健康相談、疾病の応急処置、医療機関の案内等を行っています。

場 所	1号館1階
開 室 時 間	月曜日～金曜日 8:40～16:45 土曜日 8:40～12:30
学校医来室時間	隔週月曜日 14:00～16:00 隔週火曜日（メンタルヘルス相談）14:30～16:30 *予約制 家族の方の同席や家族の方のみでも相談が可能です
電 話 ・ F a x	03-3203-7503（直通）
E-mail	gwc-hlth@gakushuin.ac.jp

## 保健室では以下のような業務を行っています。



保健室の入口です

- 定期健康診断（毎年4月初旬）
- 健康診断証明書の発行（和文・英文）
- 英文予防接種証明書の発行
- 学校医・看護師による健康相談
- 医療機関の紹介・案内
- 応急処置・ベッド休養  
\*医療機関ではありませんので応急処置のみ  
行っています。  
薬を渡すことはできませんので、  
日頃からご自身に合う薬の携行をお願いします。
- 健康教育  
（普通救命講習会の実施、雑誌や資料の閲覧、  
健康に関する最新情報の掲示等）
- 行事救護（雅祭、和祭、入試、オープンキャンパス等）

## カウンセリングルーム（C.A.T.ルーム）のごあんない

大学生活が、楽しく充実したものになることを願って、カウンセリングルーム（Come and Talk=C.A.T.ルーム）がおかれています。

自分の生き方、将来への足がかりを築くこの時期には、誰でもつまづいたり、悩んだりするものです。「悩むこと」によって、新しい

扉が開かれていきます。「たいしたことじゃないわ…」と書いていても、それが胸にわだかまって、気になり続けていることはありませんか？悩むことを恥ずかしがらずに、どんな小さなことでも気軽に尋ねてください。本学学生についてのご父母の皆様からのご相談も承っております。



C.A.T.ルーム談話室

- 開 室 日 時 : 月曜日～金曜日 10:00～17:00
- 場 所 : 4号館1階
- 電 話 : 直通&FAX 03(3203)7169 または03(3203)7015
- E - m a i l : gwc-cat@gakushuin.ac.jp
- カウンセラー : 専任1名 非常勤2名  
(臨床心理士・  
公認心理師)

※対面相談の他に、Zoom、電話、メールでも対応しています。

- 毎年4月に「一人暮らしの人のウェルカムパーティー」を開催
- 毎年12月に「ココロとカラダをすこやかに」のテーマでワークショップを開催

草上会は、学習院女子大学（大学院含む）・学習院女子短期大学出身者による同窓会です。学習院全体の同窓会として桜友会がありますが、その一部会となります。

1959(昭和34)年11月に発足し、当時、学習院長であり女子短期大学学長でいらした安倍能成先生がわだかまりのない集いになるよう、マネの《草上の昼食》にちなみ会名をつけてくださいました。現在では、事務局を互敬会館3階に置き、会員の納める維持運営費に支えられ、会則に掲げる本会の目的「出身者の親睦、向上をはかり、母校の発展に寄与し、社会に貢献する」に則り活動を続けています。会員数も3万人を超え、20代から90代までの幅広い年齢層の集う会となりました。

早ければ令和8年4月より、学習院女子大学が学習院大学の一学部として統合されることが予定されています。これに伴い、同窓会である草上会も今後について考えてまいります。



歴代学長の色紙が並ぶ草上会ロビー

## 2023年度の主な活動

4月8日

互敬会館1階メインホールほか

新入学生へのお祝いと歓迎の気持ちを込めて協賛し、草上会の資料を配布いたしました。

### 雅祭協賛

4月16日

目白キャンパス



ヨーヨー釣り

4年ぶりに開催されたオール学習院の集いに、「花見茶屋」と「ヨーヨー釣り」で参加、多くの方々にお立ち寄りいただきました。

### オール学習院の集い

6月17日

ホテル 椿山荘 東京

4年ぶりにホテルでの開催となりました。会食後は、株式会社 Ridilover 代表取締役・一般社団法人リディラバ代表理事、学習院高等科ご卒業の安部敏樹氏に「社会課題を、みんなのものに。包摂社会を事業起点で創る」の演題でご講演いただきました。社会のさまざまな課題に対する地道で真摯なお姿に触れ、最後は大きな拍手となりました。

2024年度は、6月29日に、幼稚園から大学まで学習院で過ごされた歌舞伎俳優の中村鷹之資氏を講師にお迎えし、リーガロイヤルホテル東京にて開催予定です。



安部敏樹氏のご講演

### 総会・懇親会

10月7・8日

互敬会館3階草上会

久しぶりに「草上会バザー」「サロン草上会」で参加いたしました。先生方をはじめとする学校関係者、卒業生、学生の方々にお運びいただき、大盛況の2日間でした。



草上会バザー

### 和祭参加

11月7日

富田染工芸 / リーガロイヤルホテル 東京

### 富田染工芸見学とホテルランチの会

学習院ご出身の富田篤さんが五代目当主を務められる富田染工芸での染体験(トートバッグ、袱紗)、工房見学の後、ホテルでのランチを楽しみました。



西早稲田・富田染工芸にて見学・体験

### 伝統工芸を学ぶ

毎月第2水曜日

互敬会館3階草上会洋室

新宿区社会福祉協議会(社協)に寄付するフキンやバザー販売用の小物を作製しています。バザーの売上金では社協に車椅子などを寄贈しています。また、使用済み切手と外国コインを回収し、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に寄付いたします。そのほか、総会などの折に会員より寄せられたご厚意を災害支援金として被災地に寄付をしています。

### ボランティア

## 01

### 一般社団法人尚友倶楽部助成金事業 第5回 学習院女子大学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト

令和5年12月2日(土)、一般社団法人尚友倶楽部助成金事業として、「第5回 学習院女子大学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト」を開催いたしました。

コンテストでは9カ国・地域出身の11名(中国、韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、ベトナム、ポーランド、マレーシア、モンゴル)がテーマに沿ってスピーチを行い、会場からは惜しみない拍手が送られていました。前回に引き続き、地元商店会「明和会」会長の吉田一雄様が審査員に加わり、地域との連携をより深めました。

また、審査中に会場では本学課外活動団体「箏曲部」および「きもの文化部」による発表が行われ、来場者が熱心に観覧する様子が見られました。箏曲部が交流会中に実施した箏演奏体験にも多くの方が参加し、日本文化への関心の高さが感じられました。

コンテスト後の交流会は4年ぶりに立食形式で開催されました。コンテストに出場した学内外の留学生に加え、本学の留学生・日本人学生・教職員、地域の方や日本語学校の生徒・教職員も参加し、活発な交流が行われました。



## 02

### 令和5年度 学習院女子大学 学生表彰 表彰者一覧

標記の件について、以下の団体および個人の方が表彰されました。

個人	鈴木 茂美	「2023日本の心と美の祭典全日本きもの装いコンテスト世界大会」において、振袖の部第3位の成績を収めたため。 (31名中3位)
個人	馬 陸辞玉	「令和5年度学習院女子大学長杯留学生日本語スピーチコンテスト」において、優秀賞を受賞したため。 (11名中2位)
団体	きもの文化部	「2023日本の心と美の祭典全日本きもの装いコンテスト世界大会」学校対抗の部において、第4位の成績を収めたため。 (9校中4位)
団体	ジャズダンス部AQUA	ダンスプロジェクト「α」主催第23回サークル対抗コンテストにおいて、準優勝の成績を収めたため。 (9団体中2位)
団体	書道部	第32回全国書道展・全国教育書道展において、3名が入賞したため。(栃木県議会議長賞1名、宇都宮市教育委員会教育長賞1名、下野新聞社賞1名) (総出品数6,703名、入賞者数不明)
団体	馬術部	「第66回全日本学生賞典馬場馬術競技大会」において、第3位の成績を収めたため。 (19大学中3位)
団体	芥川龍之介「翁しるこ」再現プロジェクトチーム	合同ゼミとして異分野の壁を超えて研究協力し、女子大学のリベラルアーツを象徴する活動を行い、外部から高い評価を得たため。

## 03

### 新協定校が誕生しました！

#### フエ大学外国語大学(ベトナム)



学習院女子大学ではこの度、ベトナムのフエ大学外国語大学 (University of Foreign Languages and International Studies, Hue University) との学生交換を含む交流協定を締結いたしました。

この協定は、学生の教育面での充実・発展を図ることを目的とし、協定書は英文を正文として、2024年1月22日付で発効いたしました。

同大学はベトナム、フエ市にある国立大学で、2004年にフエ大学傘下の外国語学科を統合して創立されました。日本語日本文化学部には約800名の学生が所属しており、活発な交流が期待されます。

## 04

### 「授業公開WEEK」を実施しました

6月26日(月)から7月1日(土)の6日間、学習院女子大学では「授業公開WEEK」を実施しました。これは、高校生や高校の先生に本学の授業を自由に見学していただく催しです。今年度は延べ10名の方が来学され、授業に参加されました。

卒業生アンケートの結果を見ても、本学の学びに対する卒業生の満足度は大変高くなっています。比較的少人数で行う授業が多いこと、多様な分野が学べること、教員と学生の距離が近いことなどが満足度を高める要素であると思われます。そうした授業のよい点を知っていただくには、まずは実際に教室に来て授業を聴いていただくのが一番でしょう。

まだまだ認知度が低いこと、またどうしても高校の授業が行われている平日の開催にならざるを得ないことから、今年度の参加者は決して多くありませんでしたが、この企画は今後も継続して実施します。令和6年度は6月3日(月)～8日(土)を予定しています。公開する授業等の詳細は、本学のウェブサイトでお知らせします。事前登録制となりますので、本学に関心をもっておられる高校生の方がいらっしゃいましたら、ぜひこうした企画があることをお知らせいただければと思います。

## 05

### 「第36回オール学習院の集い」開催のお知らせ

本院では、毎年4月に、学習院父母会、学習院校友会及び常磐会のご協力を得て「オール学習院の集い」を開催し、学生・生徒・児童・園児・教職員は勿論、卒業生・父母の方々、更には近隣にお住まいの方々の親睦と交流の場としてご好評を頂いております。

この催しは、春の一日、学習院のシンボルである桜の下、世代を超えて親睦と交流の輪を広げ、学習院との絆をより深めていただくとの趣旨で実施しているものです。

女子大学の学生団体も参加しますので、皆さんのお越しをお待ちしております。

- 日 時 令和6年4月14日(日)  
午前9時30分～午後4時00分(雨天決行)
- 会 場 学習院目白キャンパス(豊島区目白1-5-1)

※ キャンパス内は禁酒といたします。酒気帯び状態での入構もご遠慮ください。

※ 詳細は学校法人学習院のホームページ(<https://www.gakushuin.ac.jp/>)をご覧ください。





日本を学ぶ、  
世界を知る、  
英語で伝える。

 学習院女子大学

学習院女子大学 事務統括部

〒162-8650 東京都新宿区戸山3-20-1

TEL 03-3203-1906 FAX 03-3203-8373

URL <https://www.gwc.gakushuin.ac.jp>